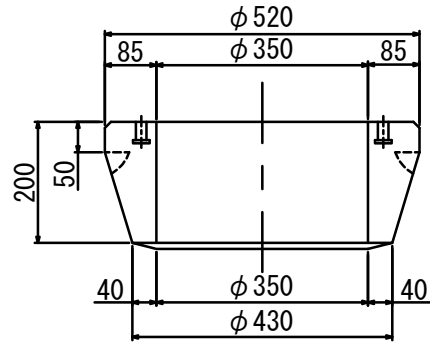


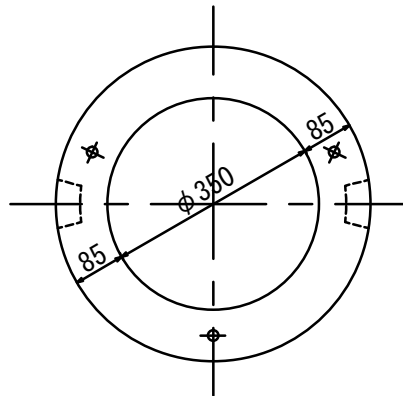
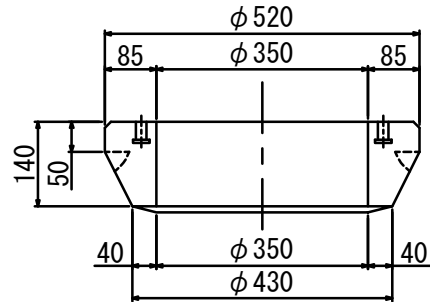


汚水枳 (φ350) S=1:12.5

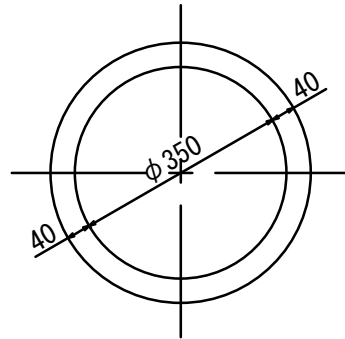
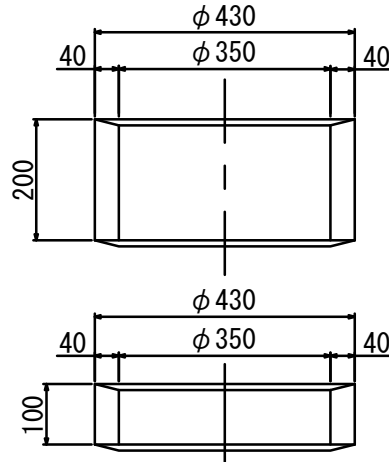
Aブロック



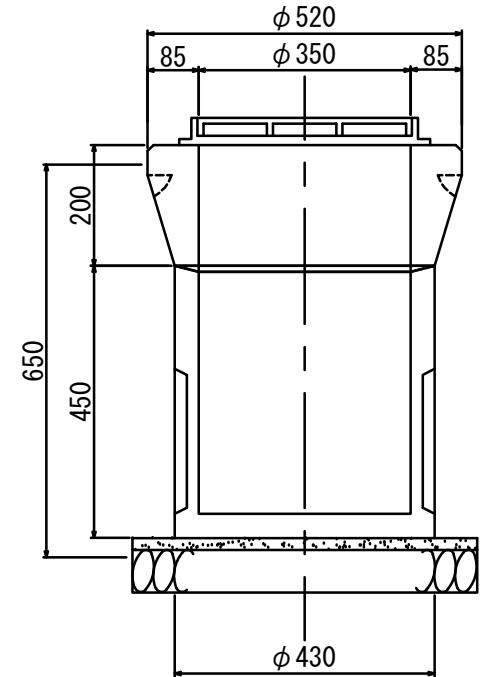
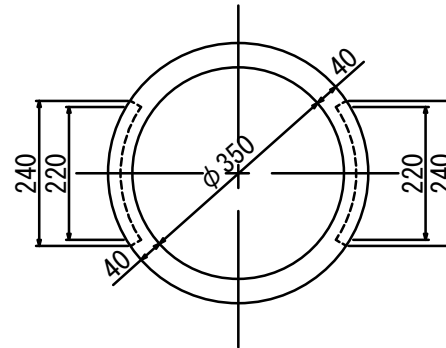
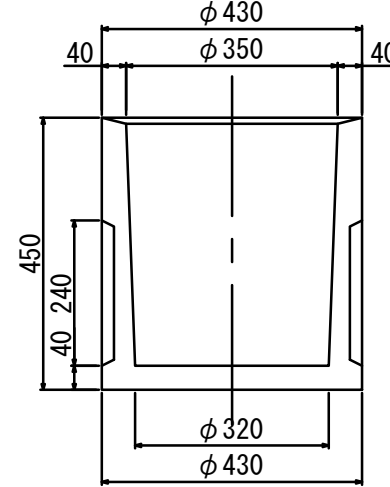
A1ブロック



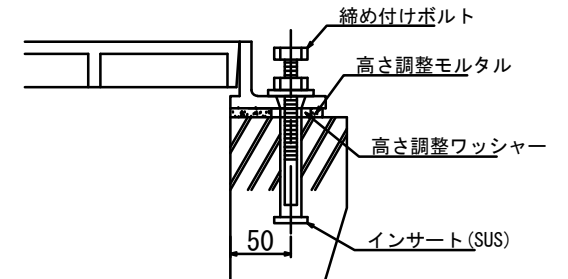
Bブロック



Cブロック

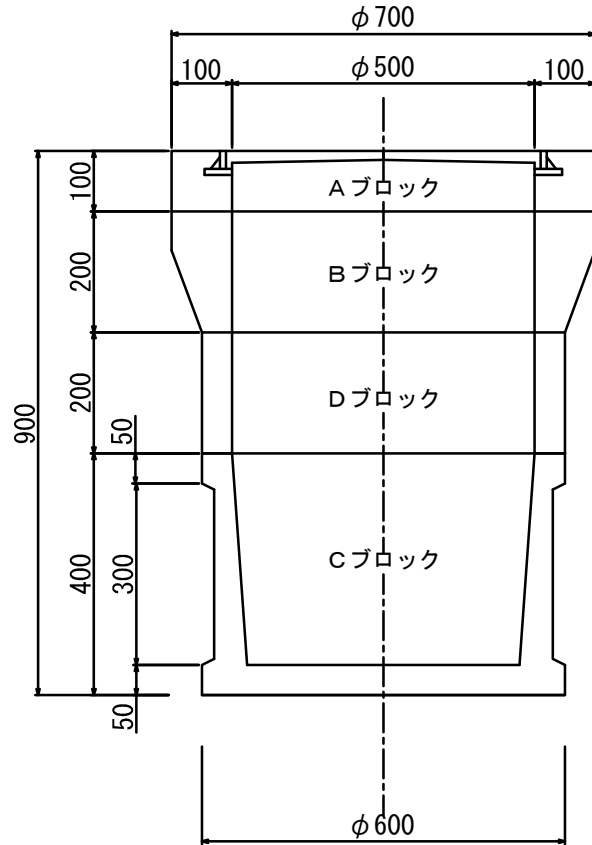


蓋締め付け部詳細

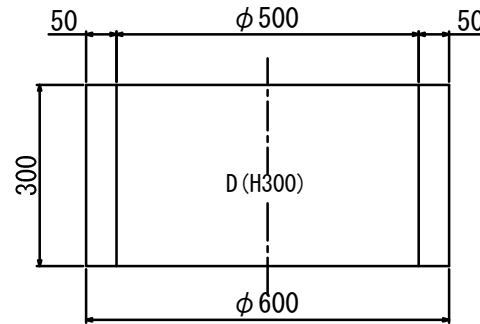
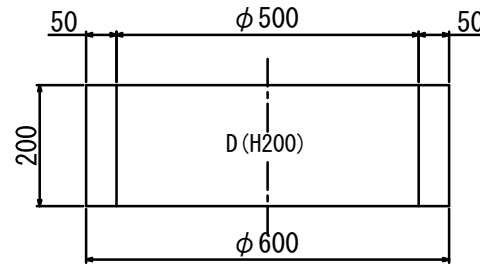
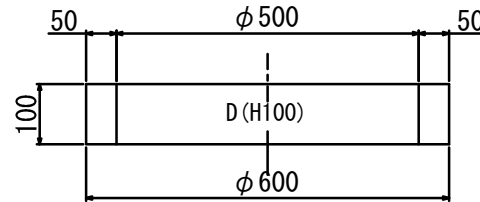


汚水柵 (φ500) S=1:12.5

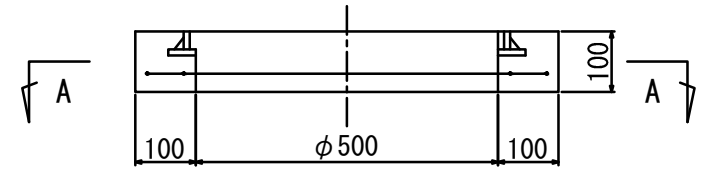
断面図



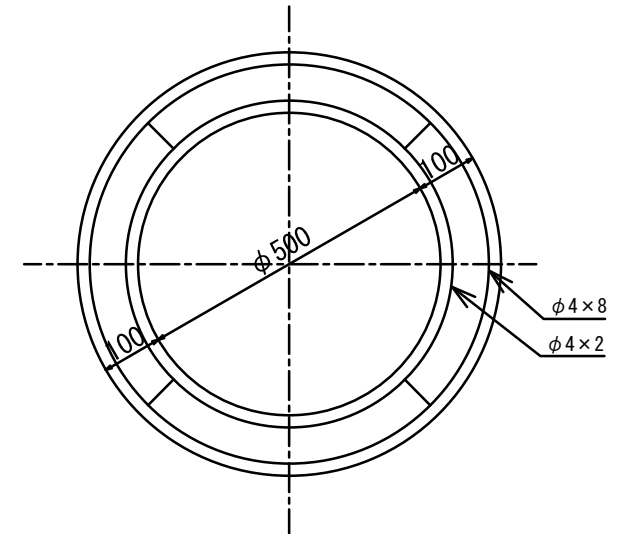
Dブロック



Aブロック



A-A断面図



3

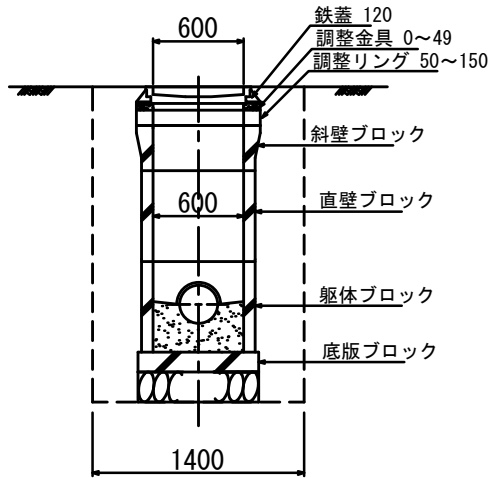
品名	摘要	重量
蓋	FCD	
Aブロック	H100	70kg
Bブロック	H200	49kg
Cブロック	H400	102kg
Dブロック	H100	20kg
Dブロック	H200	39kg
Dブロック	H300	59kg

別図 3

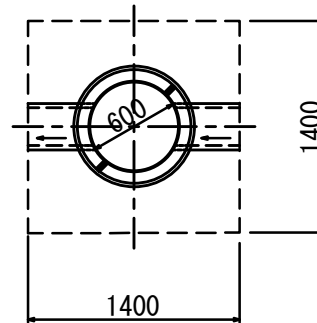
汚水・合流用

φ 600組立人孔 S = 1 : 5 0

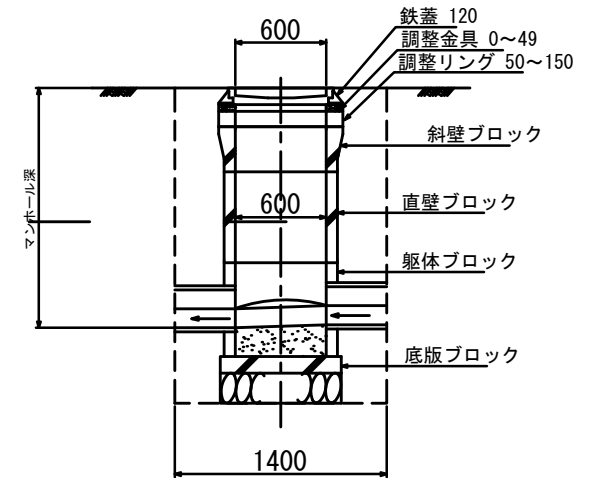
横断面図



平面図

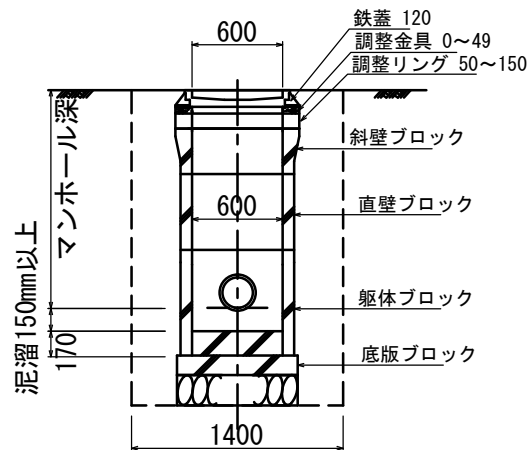


縦断面図

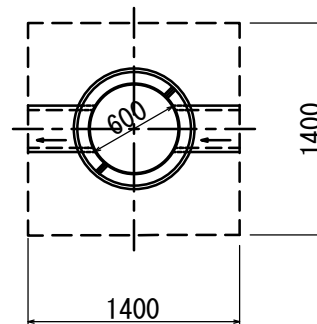


雨水用

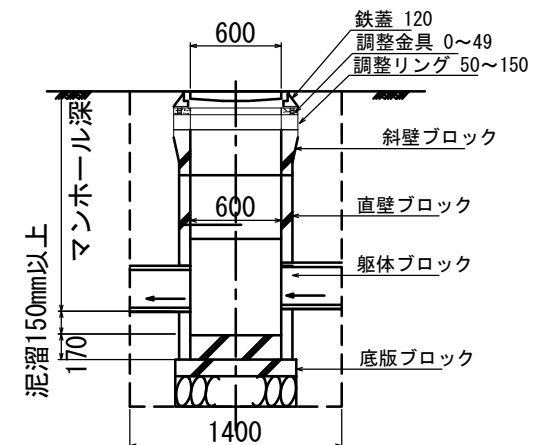
横断面図



平面図



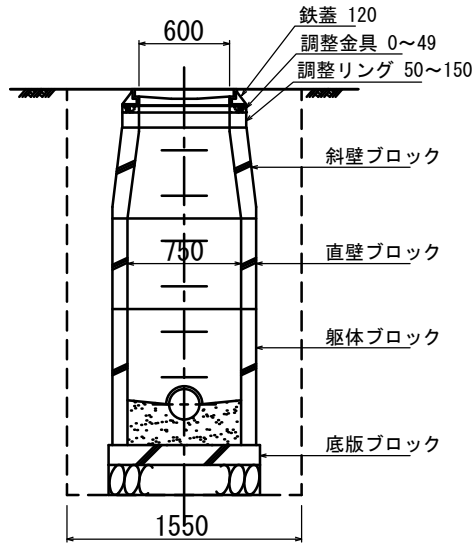
縦断面図



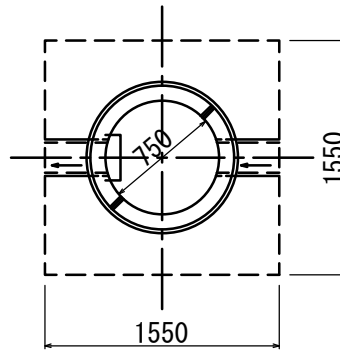
0号組立人孔(内径750mm) S = 1 : 5 0

汚水・合流用

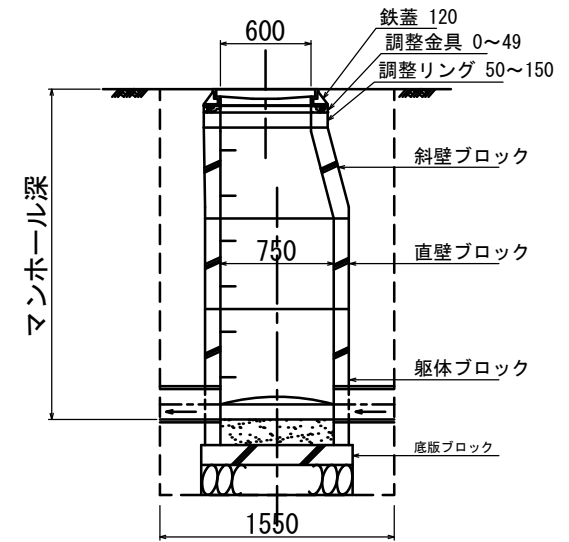
横断面図



平面図



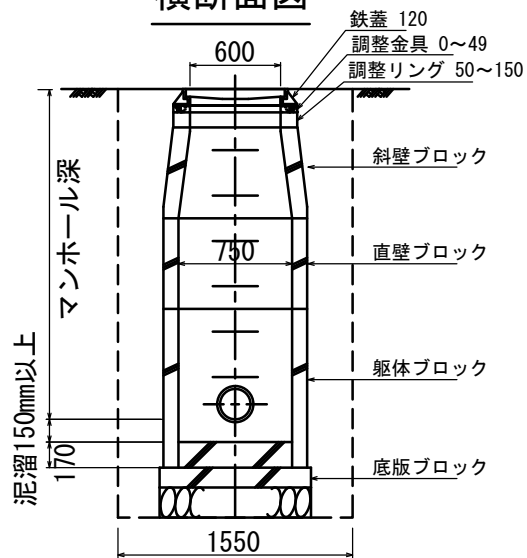
縦断面図



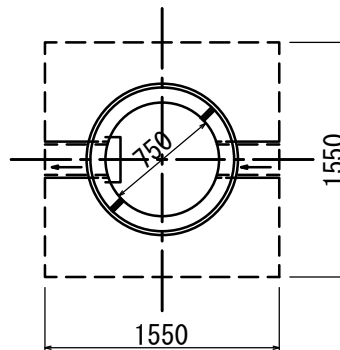
5

雨水用

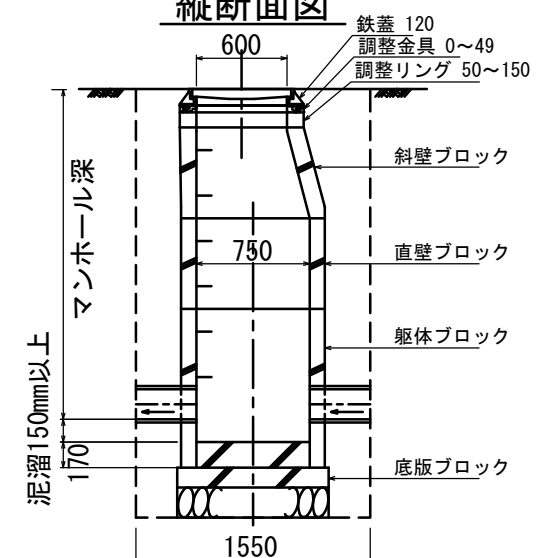
横断面図



平面図



縦断面図

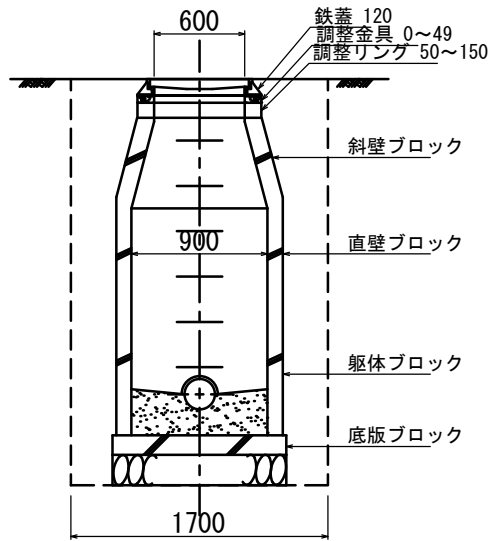


別図 5

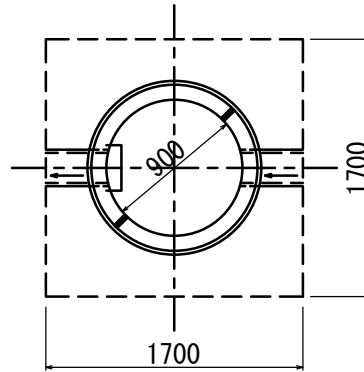
1号組立人孔(内径900mm) S = 1 : 5 0

汚水・合流用

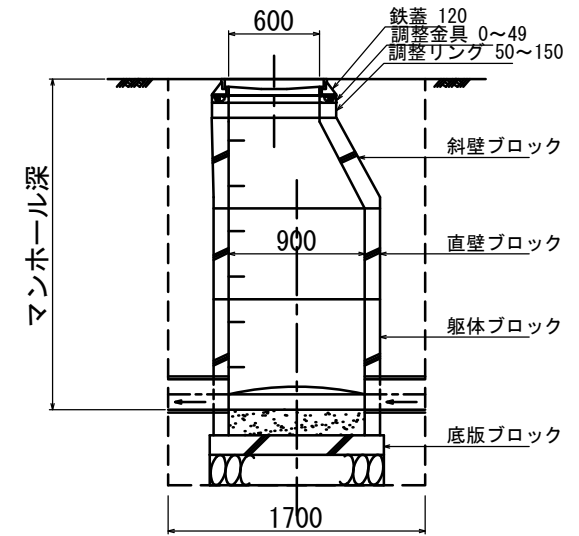
横断面図



平面図



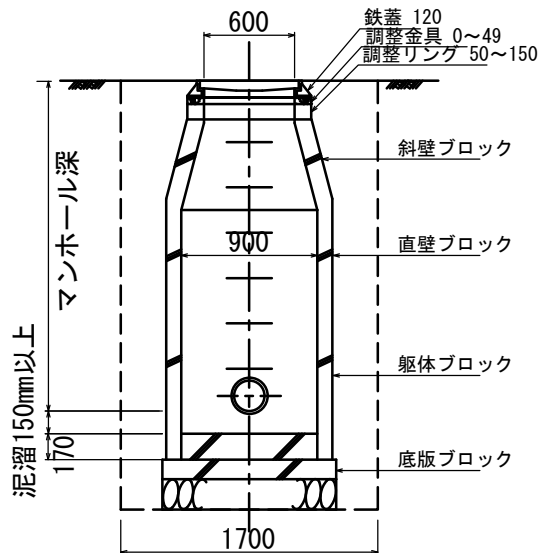
縦断面図



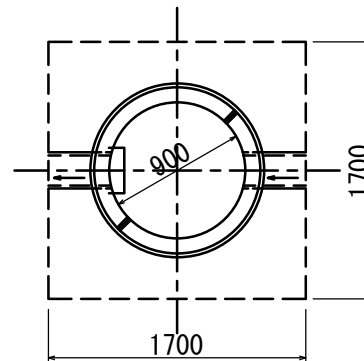
9

雨水用

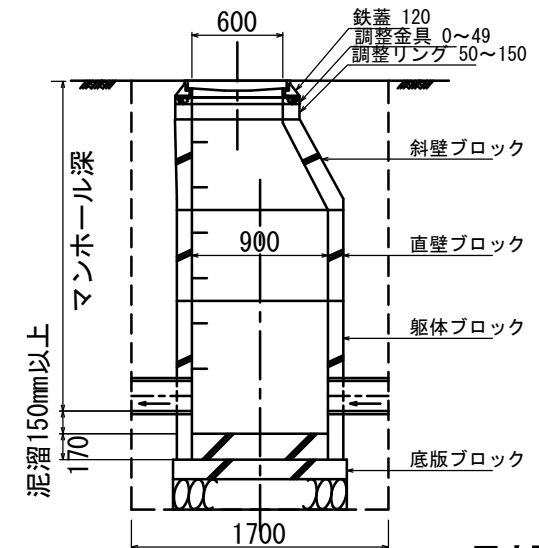
横断面図



平面図



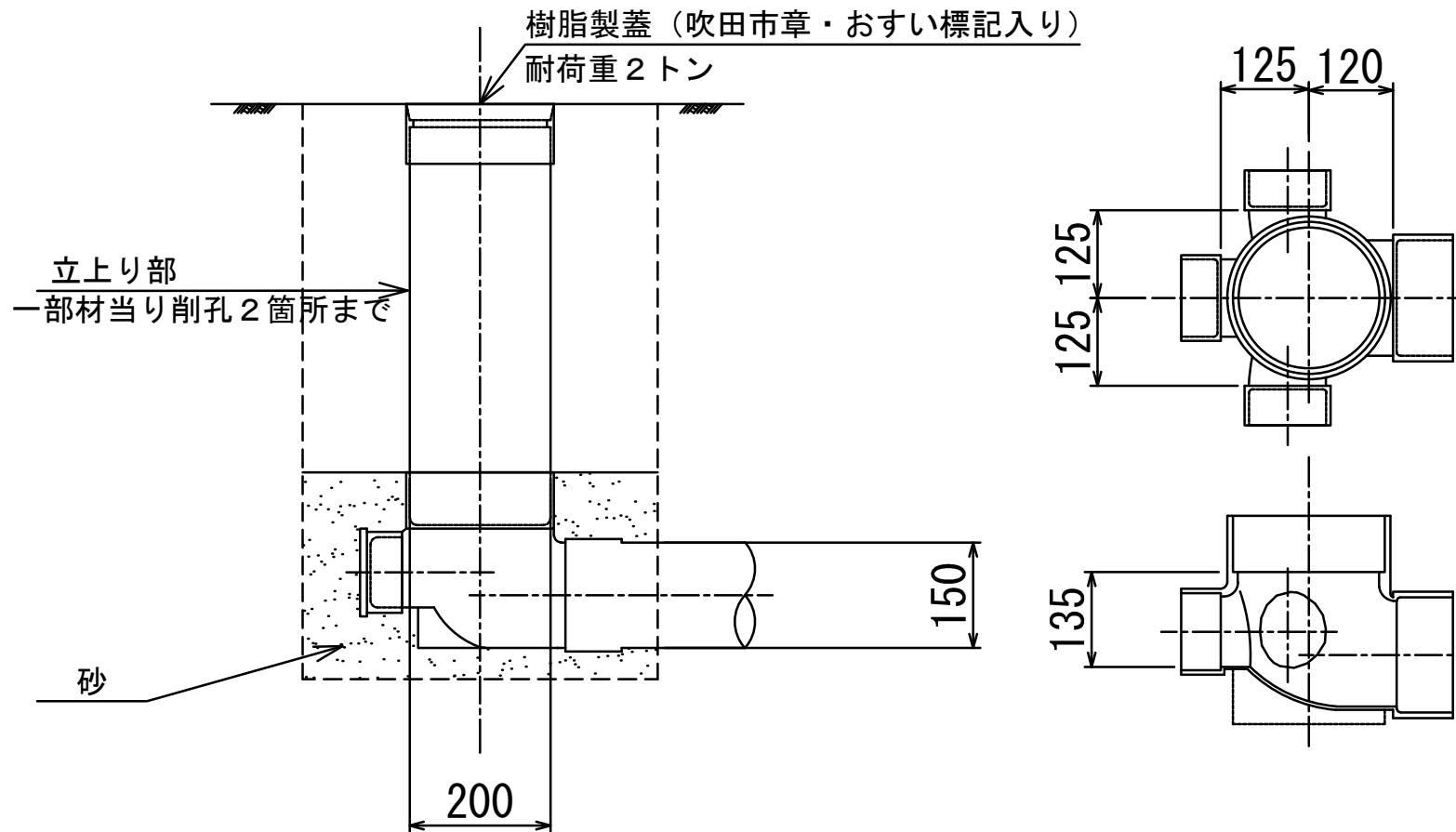
縦断面図



別図 6

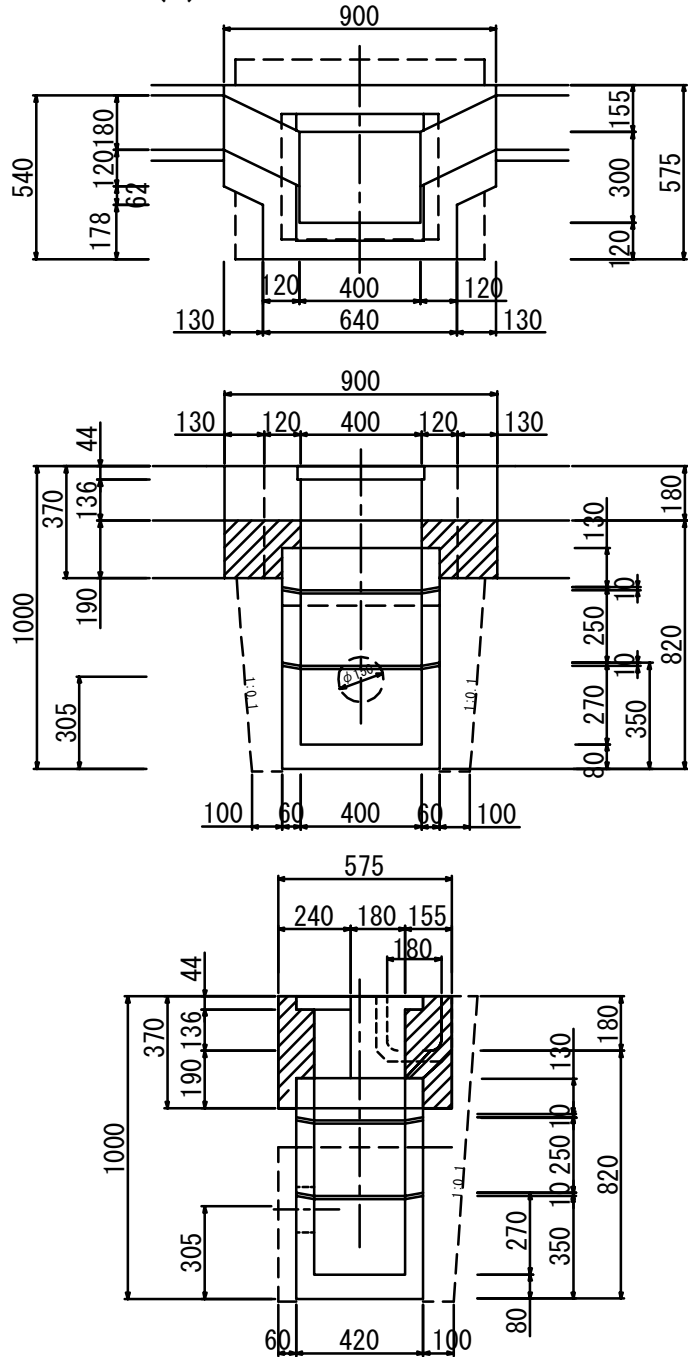
樹脂製蓋使用

受口形

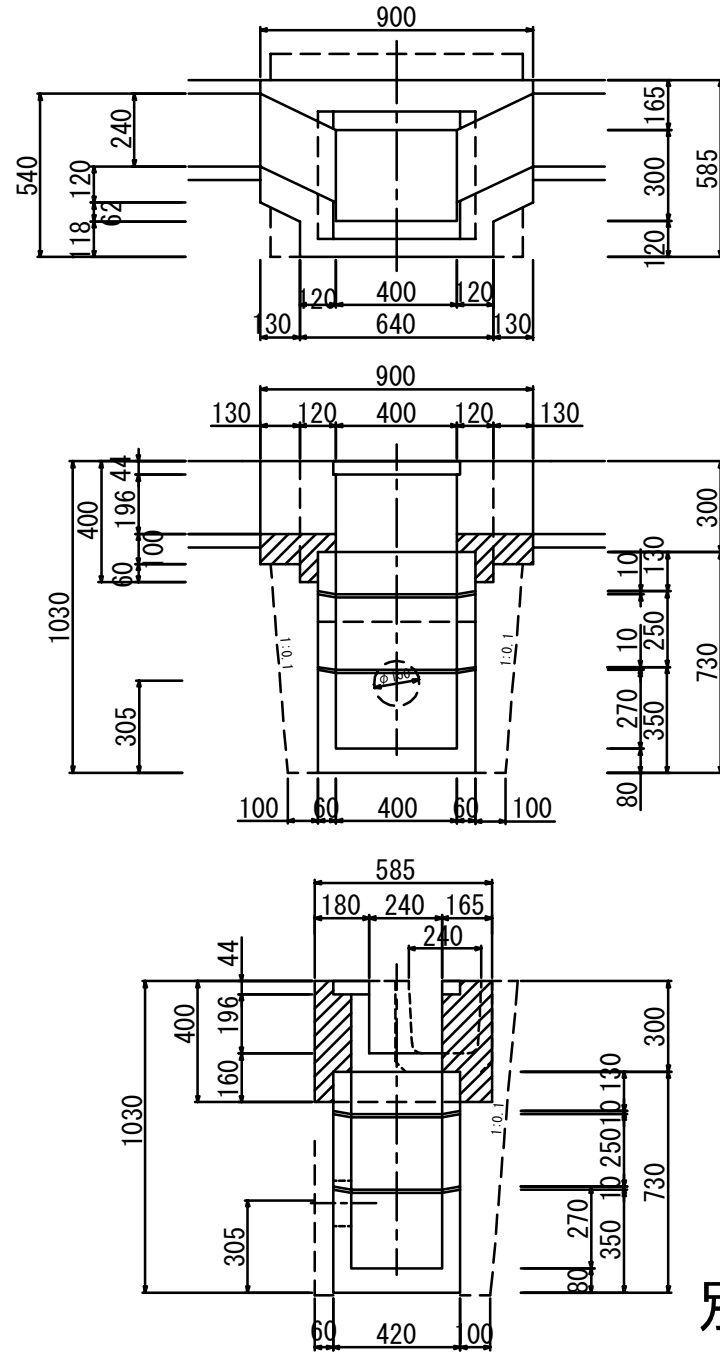


日本下水道協会規格 (JSWAS K-7) に適合した硬質塩化ビニル製品  
枳深さ 1. 2 m 以下で取付管内径が 150 mm の場合

PU-180×180用 雨水枥 S = 1 : 2 5  
TYPE (A)



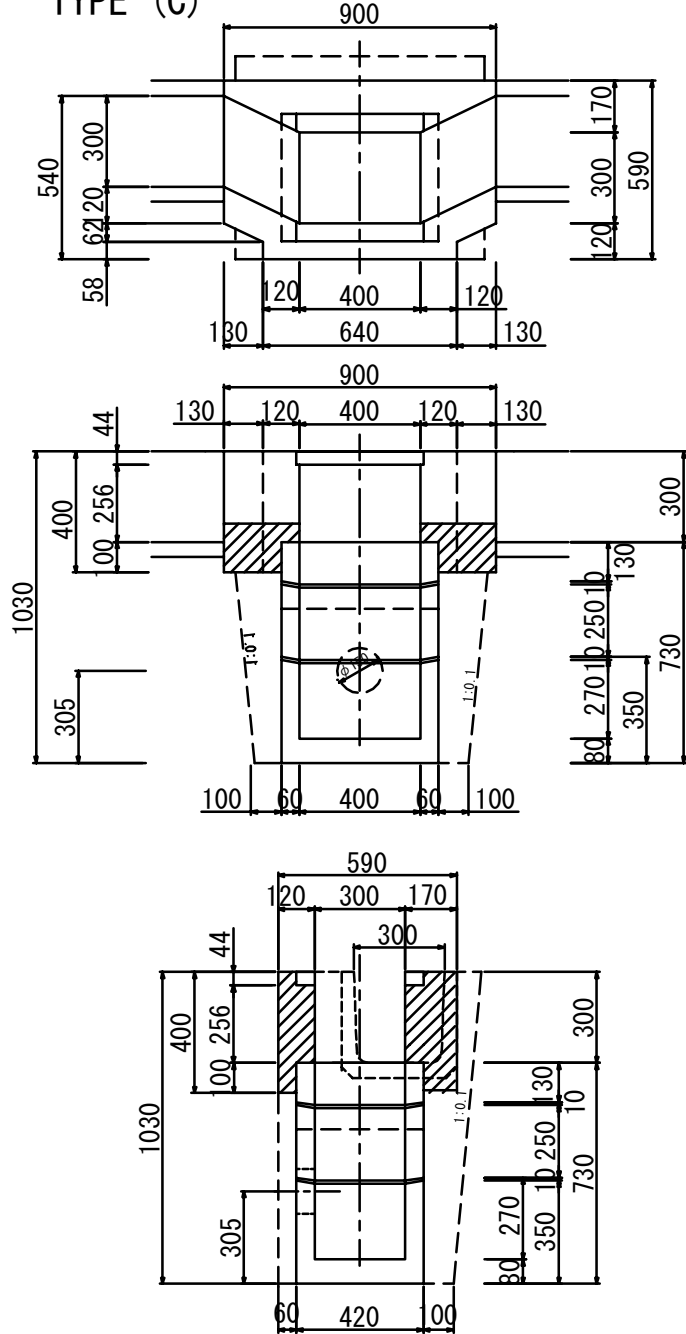
PU-240×240用 雨水枥 S = 1 : 2 5  
TYPE (B)



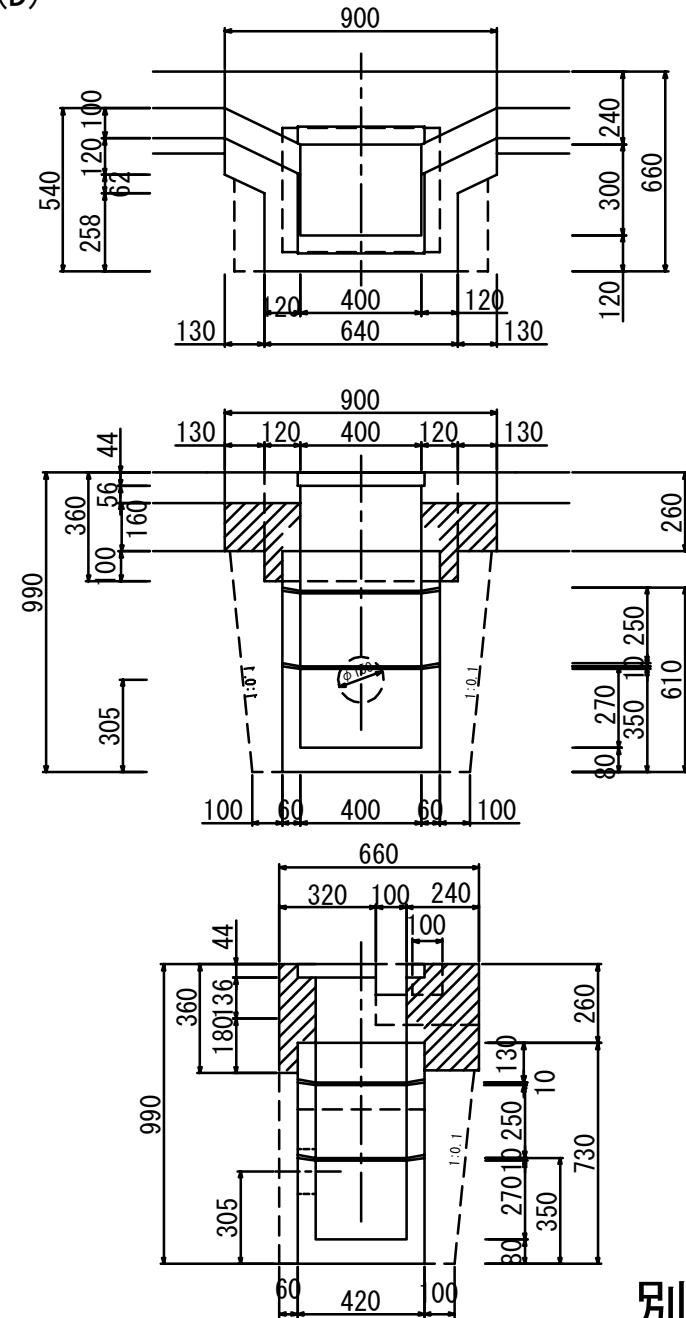
別図 8



PU-300×300用 雨水枥 S = 1 : 25  
TYPE (C)



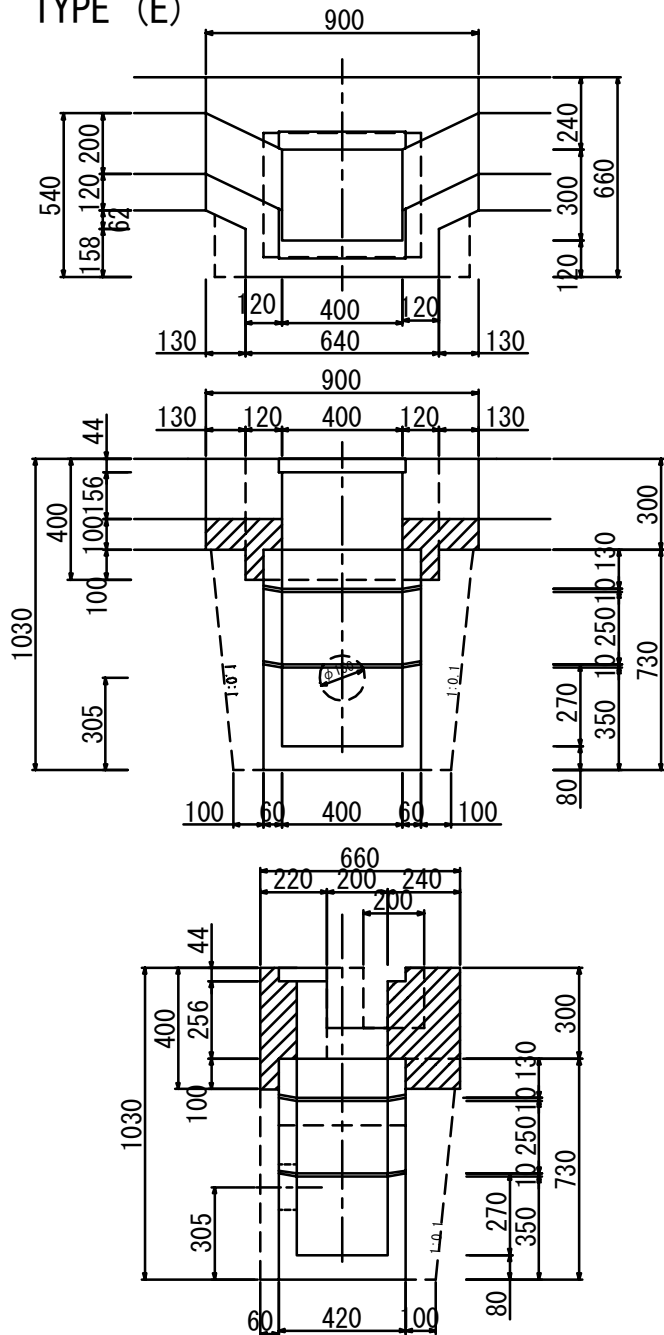
現場打側溝100×100用 雨水枥 S = 1 : 25  
TYPE (D)



別図 9

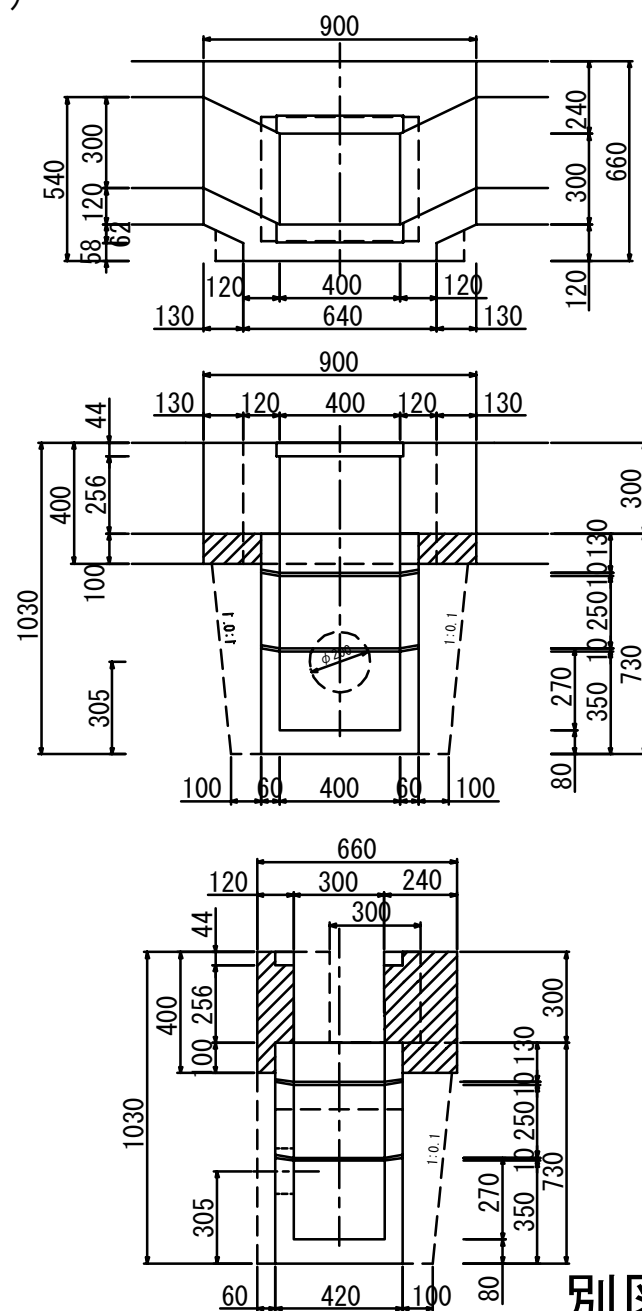
現場打側溝200×200用 雨水枱 S = 1 : 2 5

TYPE (E)



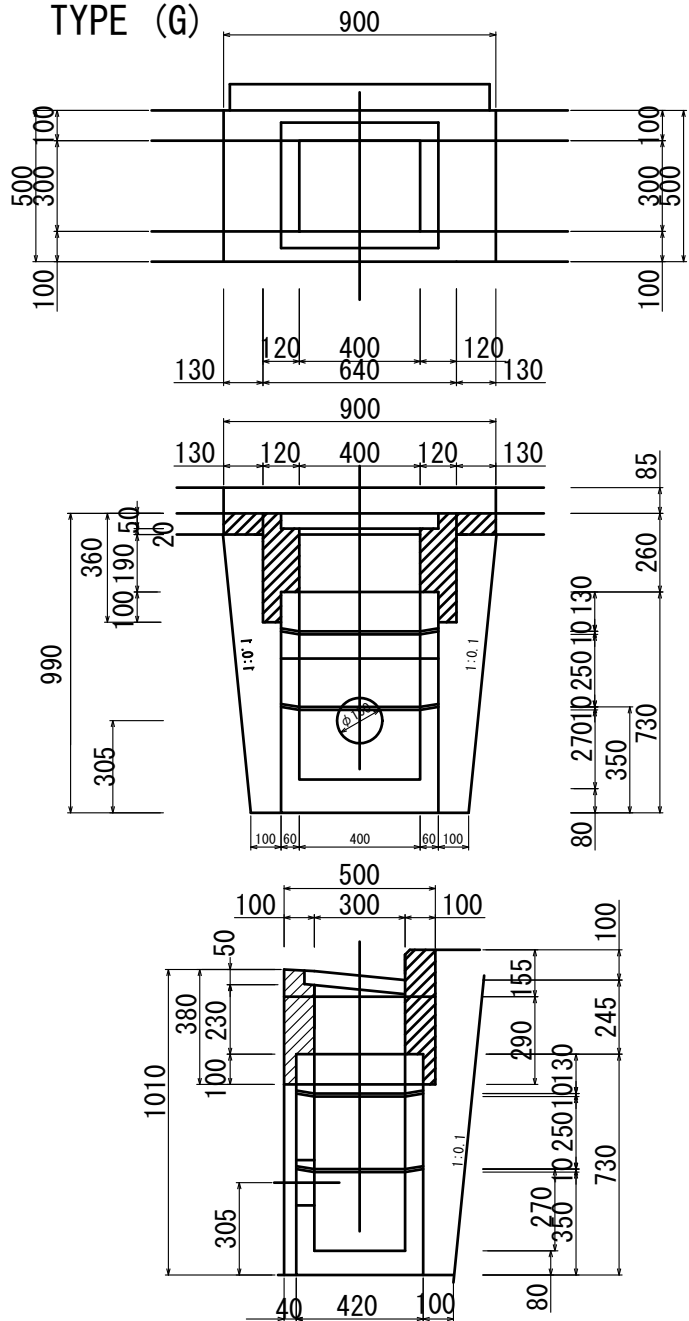
現場打側溝300×300用 雨水枱 S = 1 : 2 5

TYPE (F)



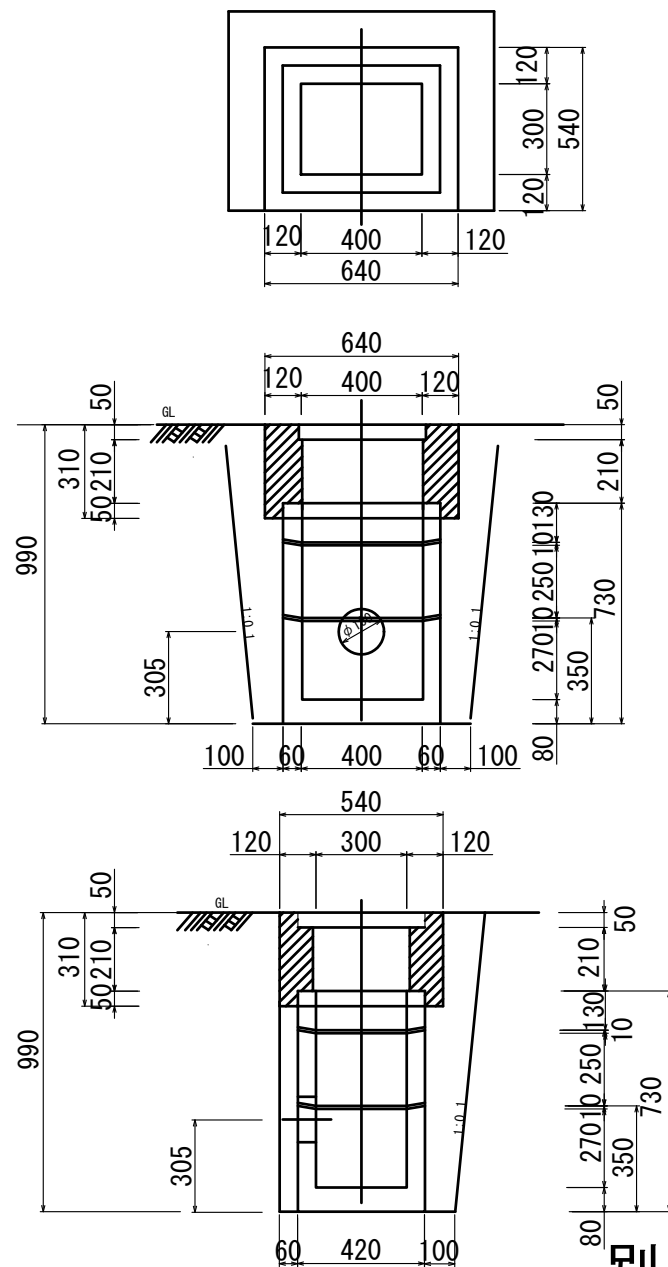
街渠部用 雨水樹 S = 1 : 25

TYPE (G)



街渠部用 雨水樹 S = 1 : 25

TYPE (H)

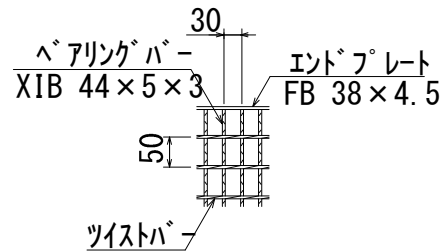
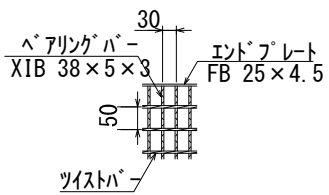
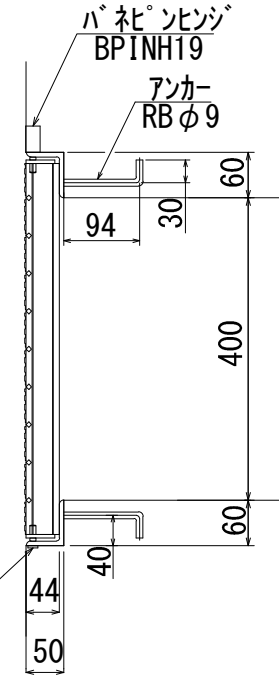
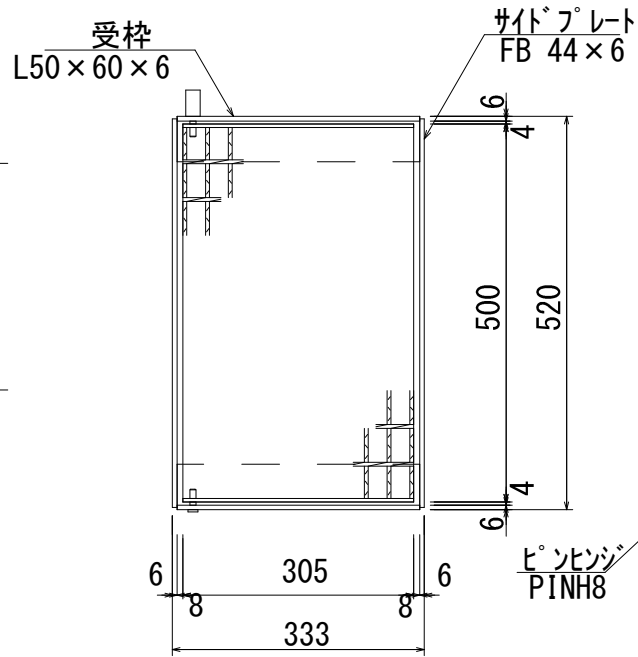
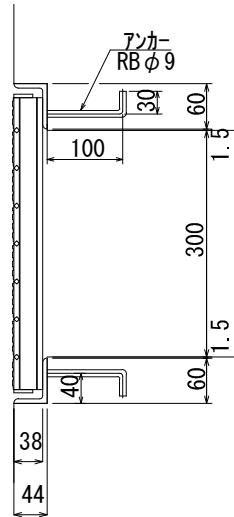
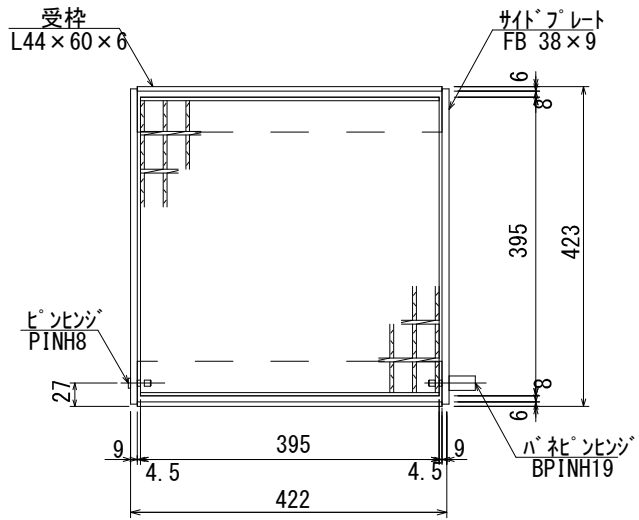


別図 1 1

# グレーチング蓋 S=1:10

## 吹田市型

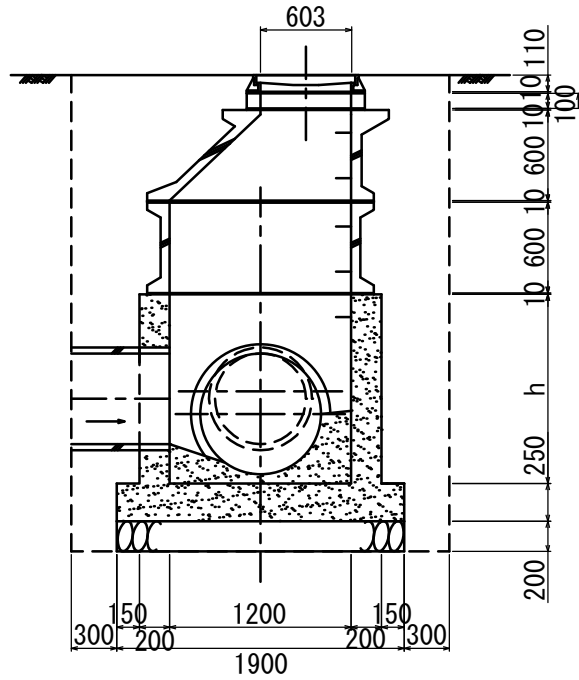
## 汎用型



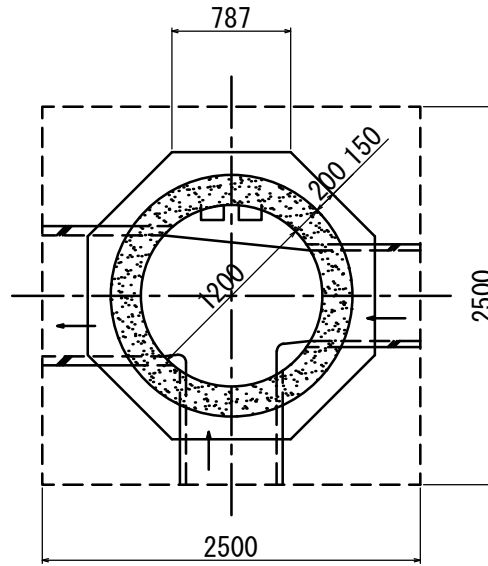
## 2・3号人孔(内径1200mm) S=1:50

(人孔深2.5m以上は3号人孔)

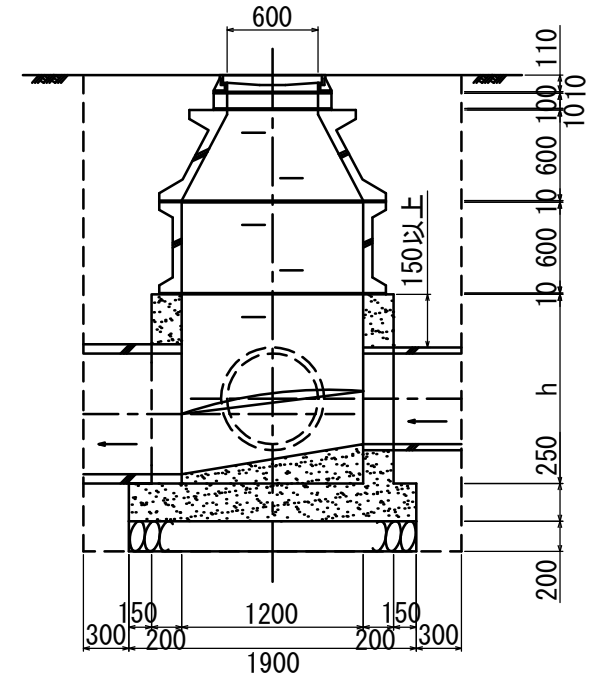
横断面図



平面図



縦断面図



(雨水人孔の場合は泥溜150mm以上)

(人孔蓋は人孔部と緊結構造とすること)

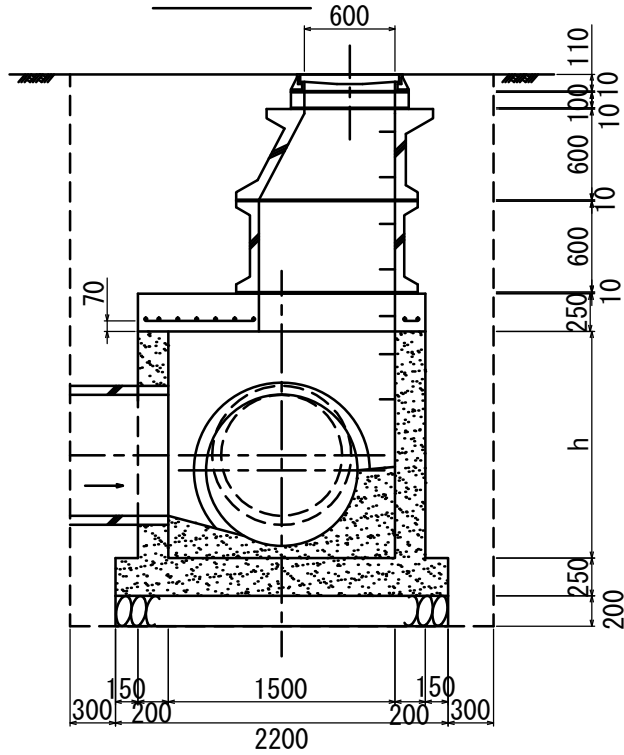
数量表

栗石	モルタル		コンクリート		型枠	
	斜直壁1枚に付	養モルタル	基礎	直壁	基礎	直壁
m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
0.596	0.011	0.002	0.748	0.879h	1.574	8.792h

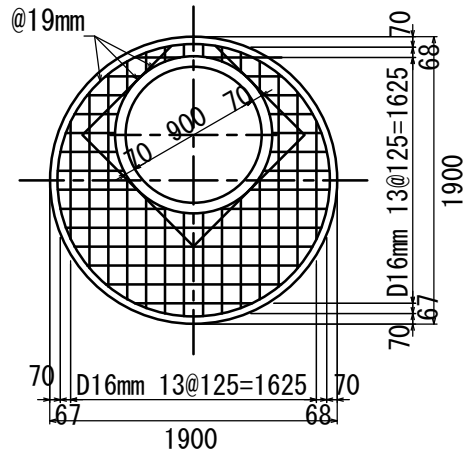
別図 1 3

4号人孔(内径1500mm) S = 1 : 5 0

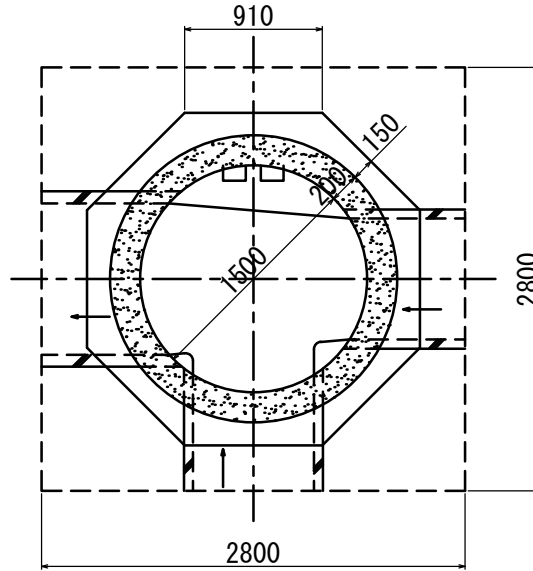
横断面図



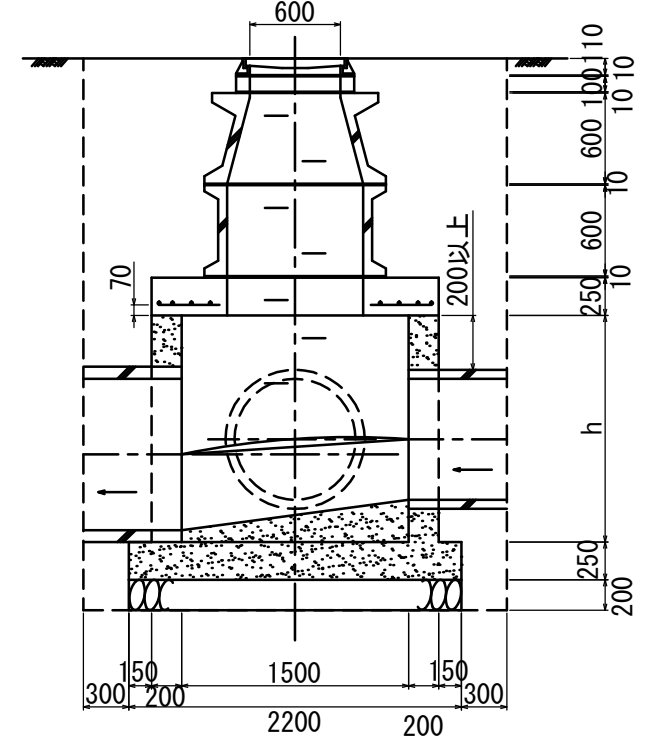
床版配筋図



平面図



縦断面図



(雨水人孔の場合は泥溜 150mm以上)  
(人孔蓋は人孔部と緊結構造とすること)

数量表

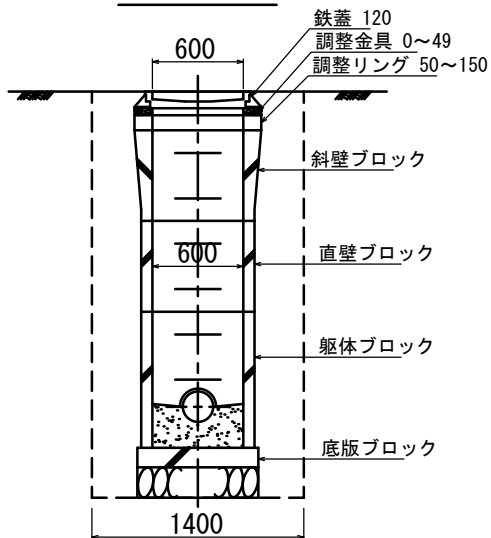
床版鉄筋	栗石	モルタル		コンクリート			型枠		
		斜直壁1ヶに付	養ムル外	基礎	直壁	床版	基礎	直壁	床版
kg	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
98	0.802	0.005	0.002	1.002	1.068 h	0.440	1.823	10.676 h	3.525

別図 1 4

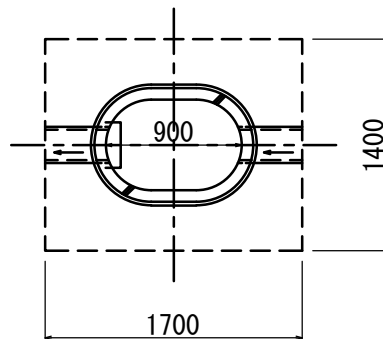
600×900組立人孔 S = 1 : 5 0

汚水・合流用

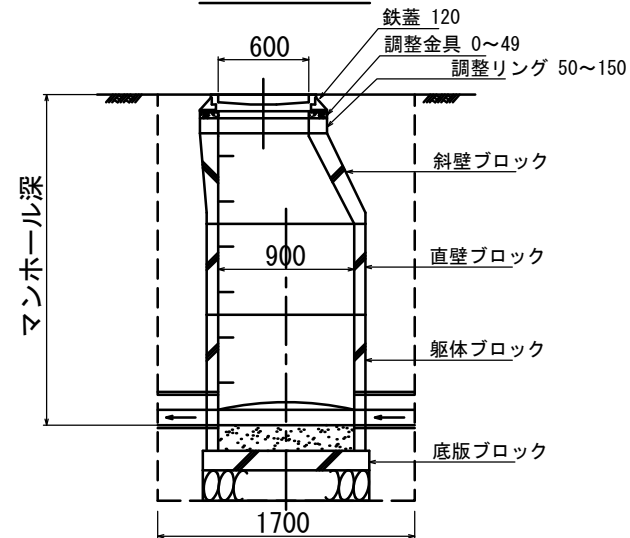
横断面図



平面図

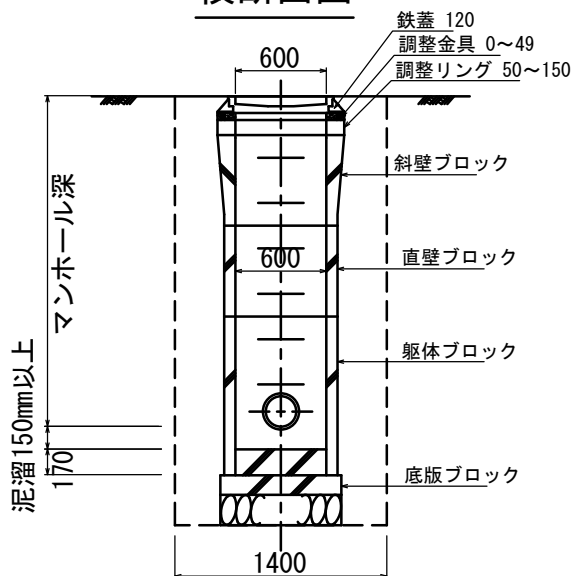


縦断面図

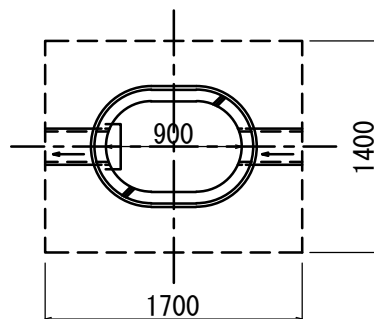


雨水用

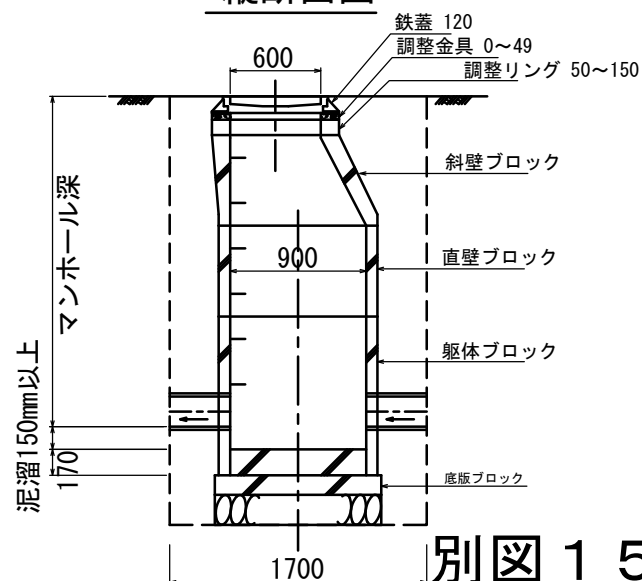
横断面図



平面図



縦断面図



別図 1 5

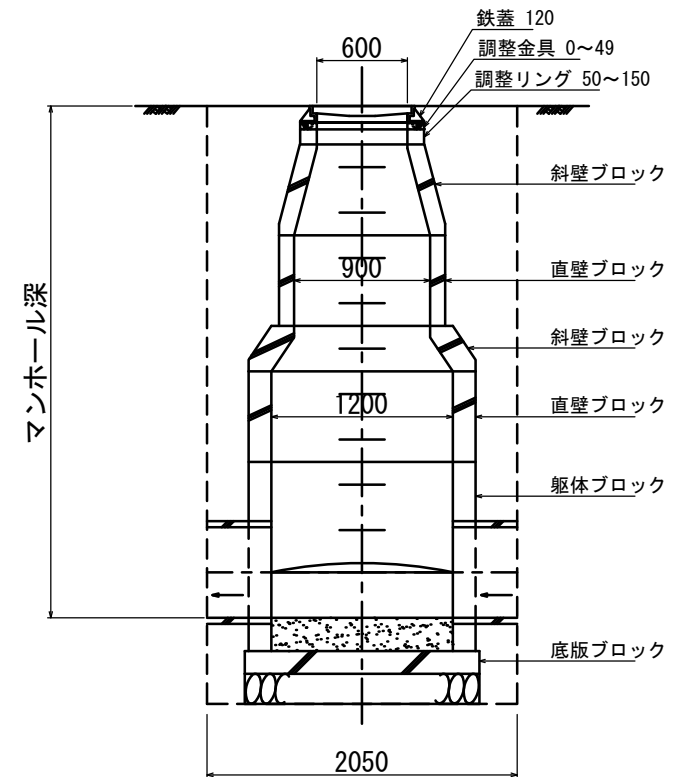
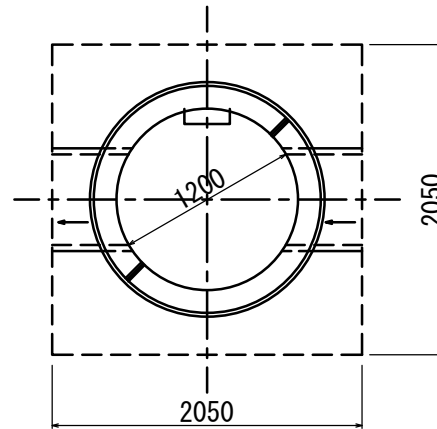
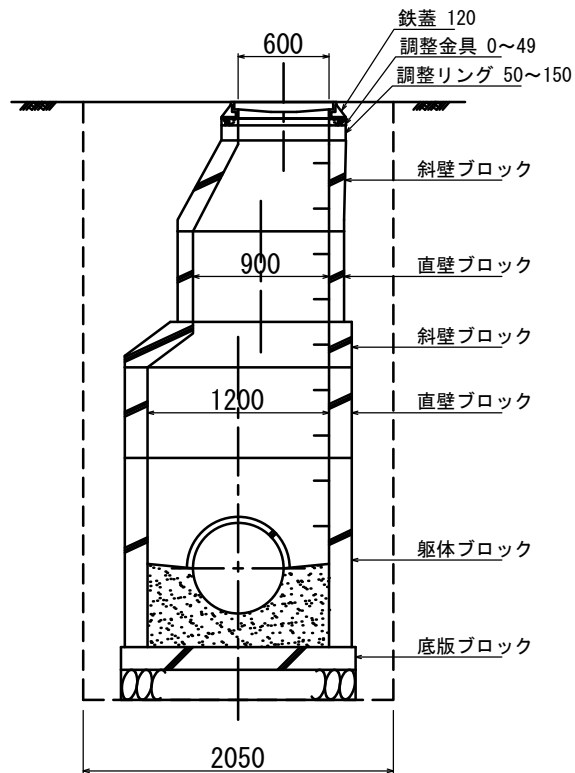
2号組立人孔(内径1200mm) S=1:50

汚水・合流用

横断面図

平面図

縦断面図





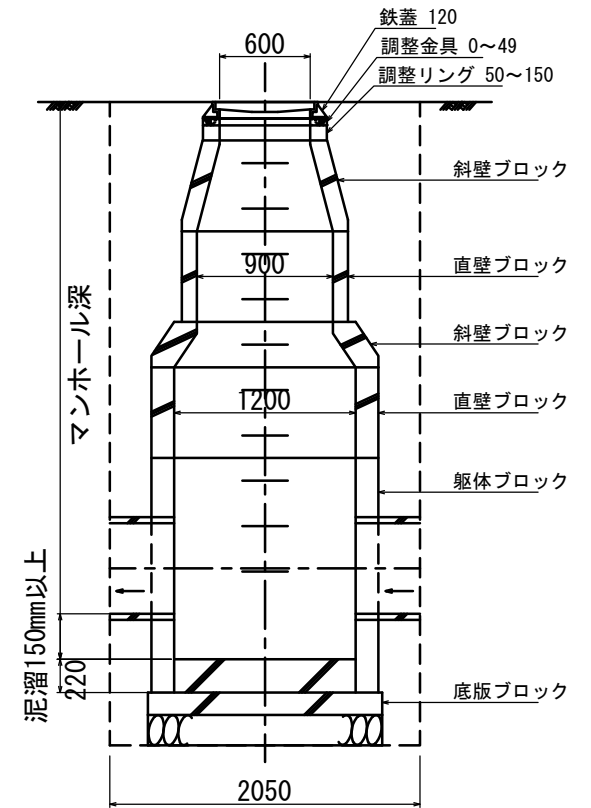
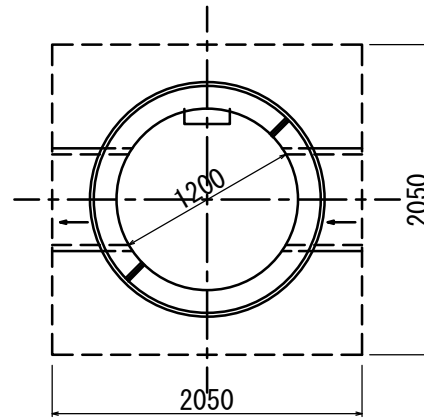
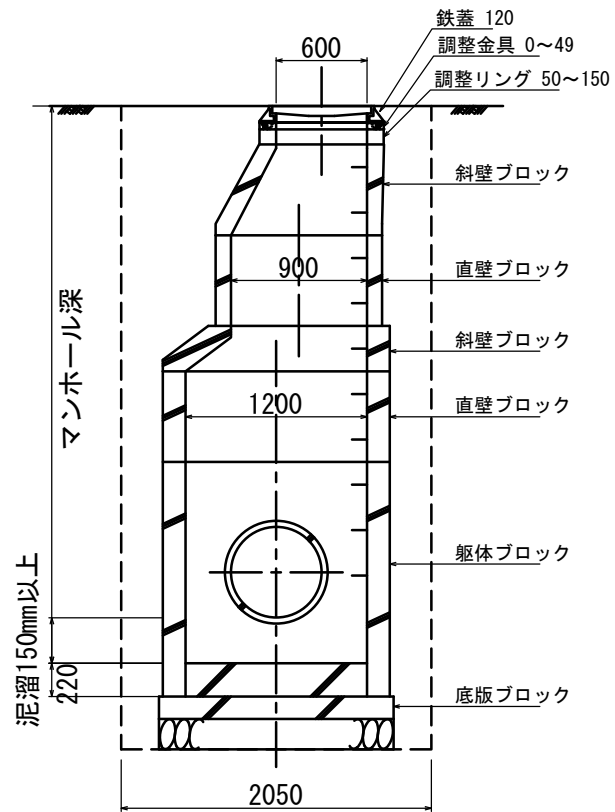
2号組立人孔(内径1200mm) S=1:50

雨水用

横断面図

平面図

縦断面図



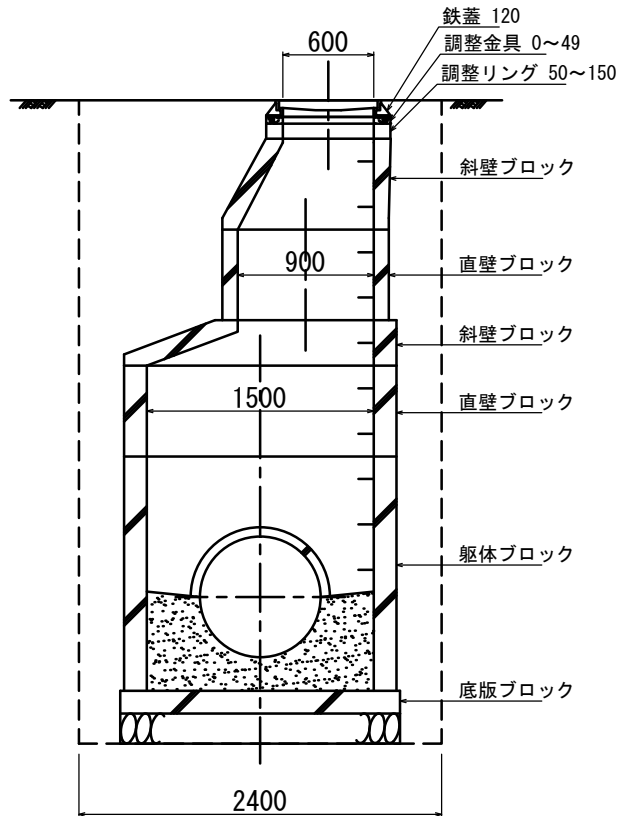
17

別図 17

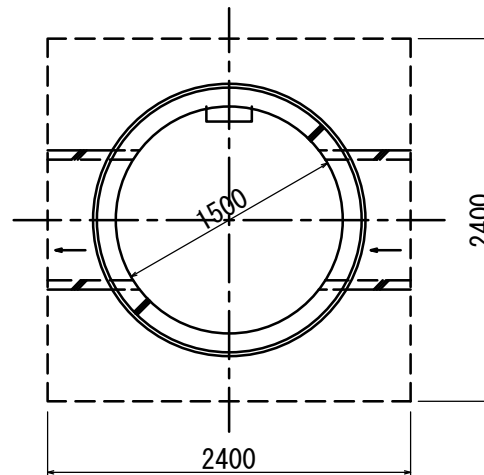
3号組立人孔(内径1500mm) S=1:50

汚水・合流用

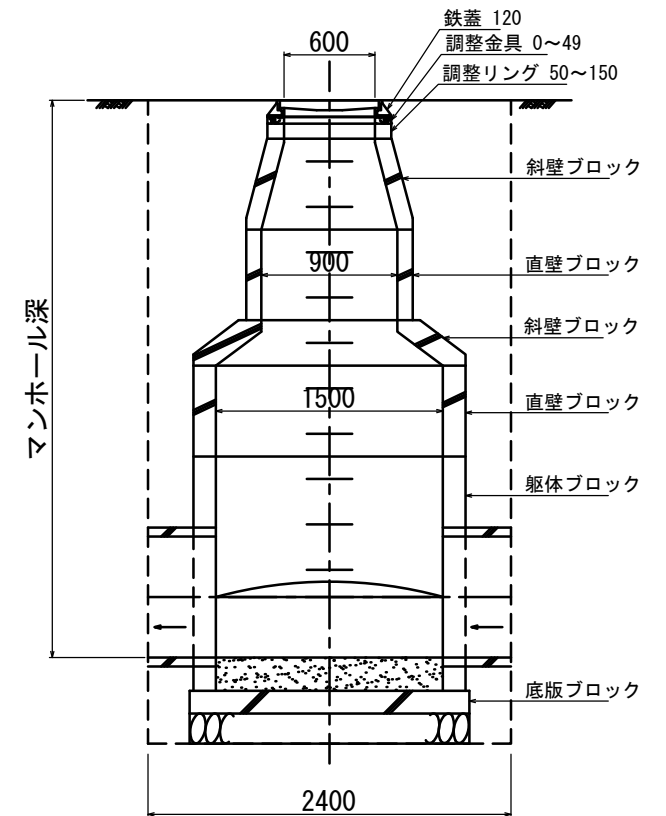
横断面図



平面図



縦断面図



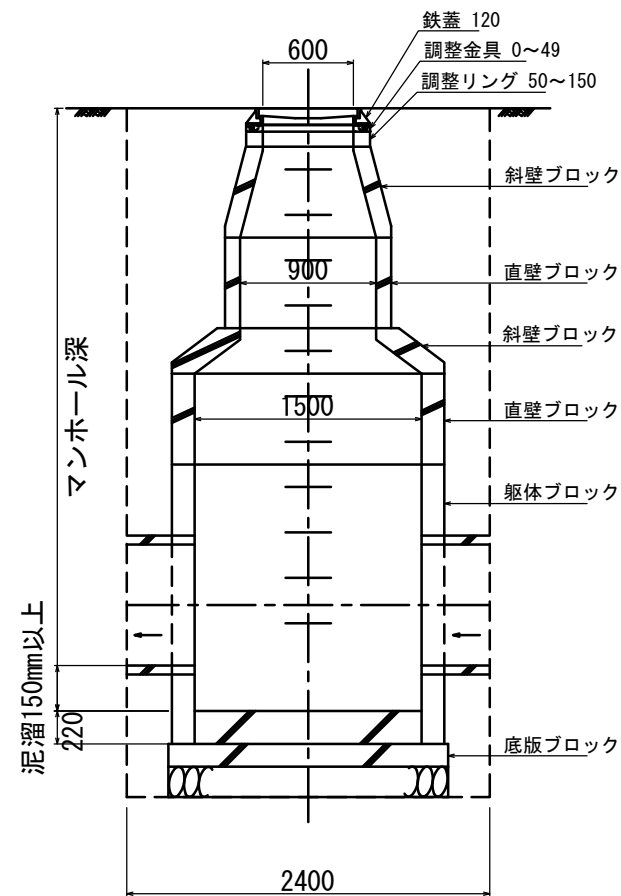
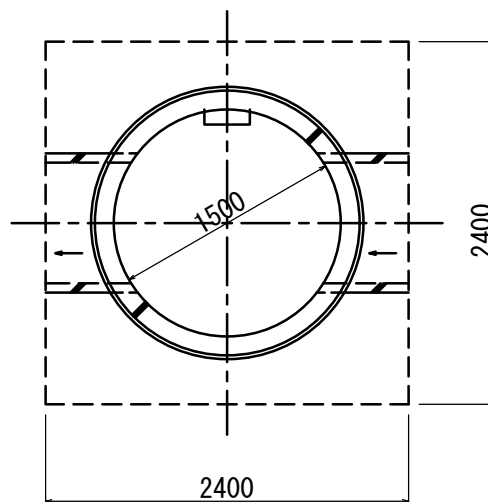
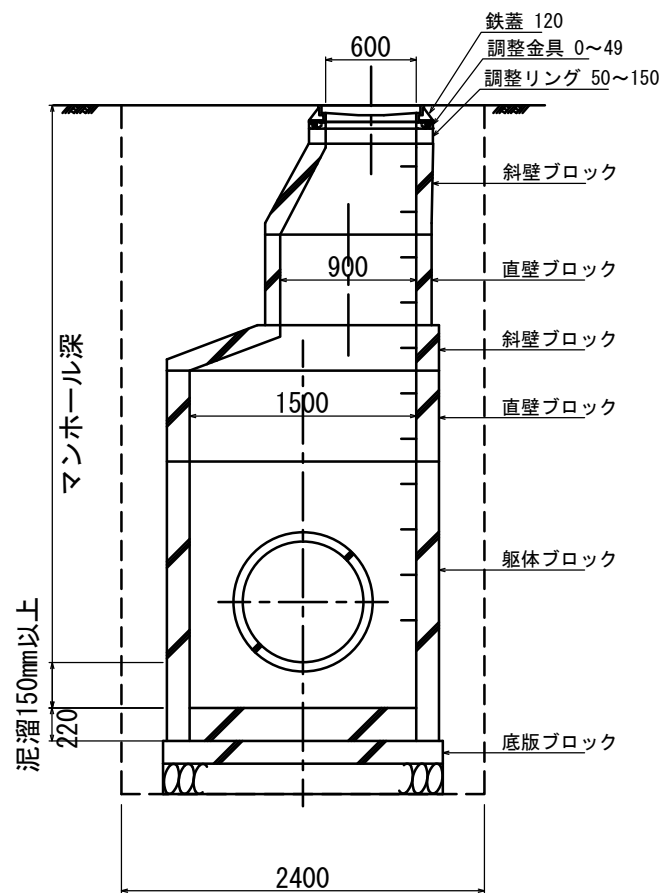
3号組立人孔(内径1500mm) S=1:50

雨水用

横断面図

平面図

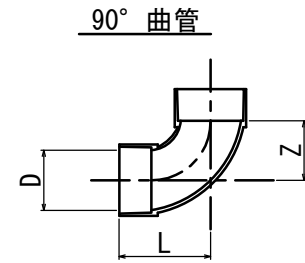
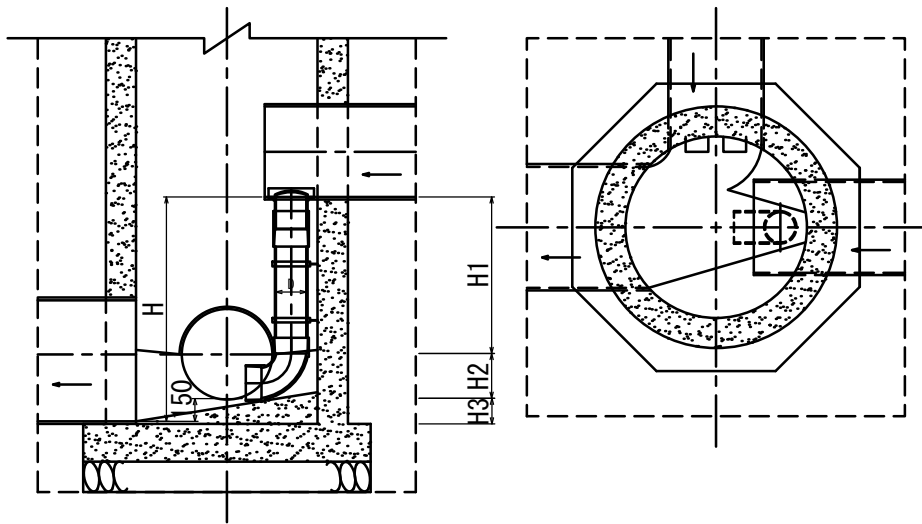
縦断面図



現打 内副管付マンホール構造図 S = 1 : 5 0

横断面図

平面図



D	L	Z
mm	mm	mm
100	178	128
150	250	170
200	301	196
250	365	225
300	415	250

H = 落差 (副管高)  
 H1 = H - 0.15 - H2 - 流入管管厚 + 副管管厚  
 H3 = 流出管管厚 + 0.15 - 副管管厚

20

管径	100	150	200	250	300
H2 (mm)	0.185	0.253	0.304	0.358	0.409

設計標準		
本管径	副管径	
	分流式下水道	合流式下水道
mm	mm	mm
150	100	—
200	150	150
250~400	200	200
450	250	250
500	別途考慮	250
600	別途考慮	300
700以上	別途考慮	別途考慮

副管径	数量表			
	90° 支管	カラー	直管	90° 曲管
D				
mm				
100	1	1	1	1
150	1	1	1	1
200	1	1	1	1
250	1	1	1	1
300	1	1	1	1

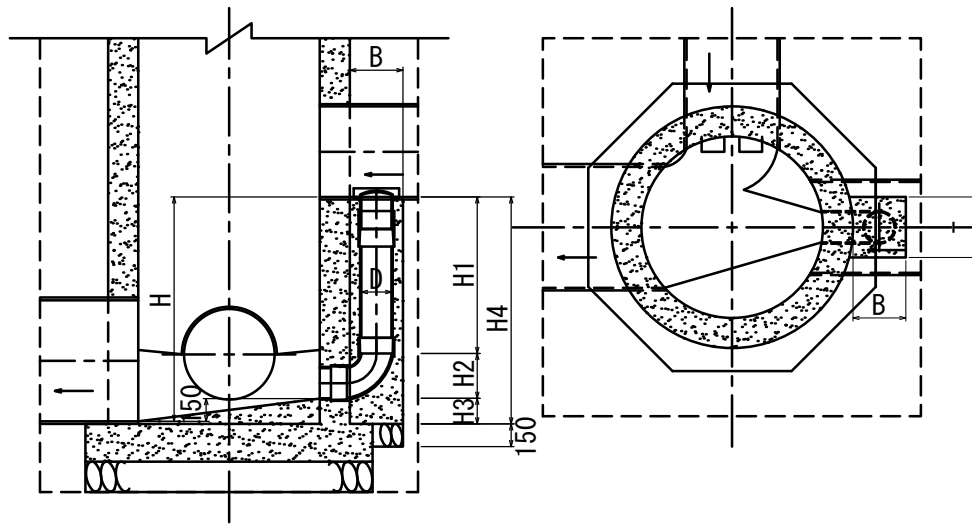
振止金具数量表	
H1-支管長	数量
m	個
0~1.0	1
1.0~2.0	2
2.0~3.0	3
3.0~4.0	4
4.0~5.0	5
5.0~6.0	6

別図 20

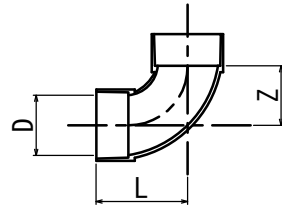
現打 外副管付マンホール構造図 S = 1 : 50

横断面図

平面図



90° 曲管



D	L	Z
mm	mm	mm
100	178	128
150	250	170
200	301	196
250	365	225
300	415	250

H = 落差 (副管高)  
 H1 = H - 0.15 - H2 - 流入管管厚 + 副管管厚  
 H3 = 流出管管厚 + 0.15 - 副管管厚  
 H4 = 型枠算出高

21

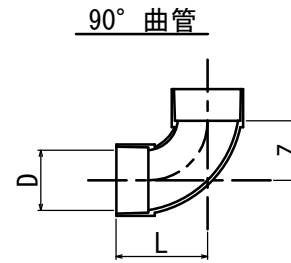
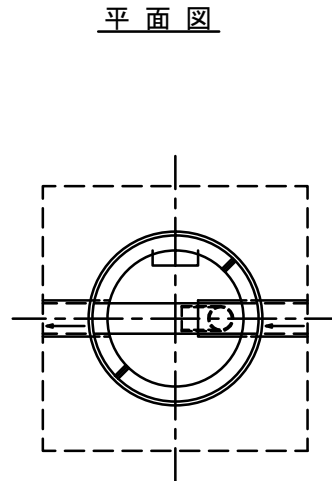
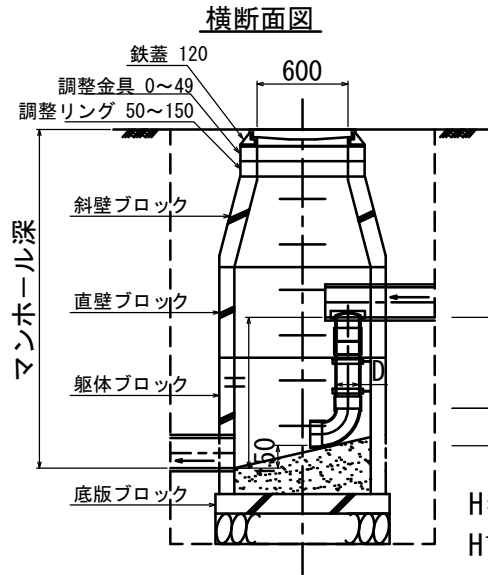
設計標準		
本管径	副管径	
	分流式下水道	合流式下水道
mm	mm	mm
150	100	—
200	150	150
250~400	200	200
450	250	250
500	別途考慮	250
600	別途考慮	300
700以上	別途考慮	別途考慮

寸法表			数量表			
D	B	T	90° 支管	カラー	直管	90° 曲管
mm	mm	mm				
100	250	300	1	1	1	1
150	300	350	1	1	1	1
200	350	400	1	1	1	1
250	400	450	1	1	1	1
300	500	550	1	1	1	1

管径	100	150	200	250	300
H2 (mm)	0.185	0.253	0.304	0.358	0.409

別図 2 1

# 組立 内副管付マンホール構造図 S = 1 : 50



D	L	Z
mm	mm	mm
100	178	128
150	250	170
200	301	196
250	365	225
300	415	250

H = 落差 (副管高)  
 H1 = H - 0.15 - H2 - 流入管管厚 + 副管管厚

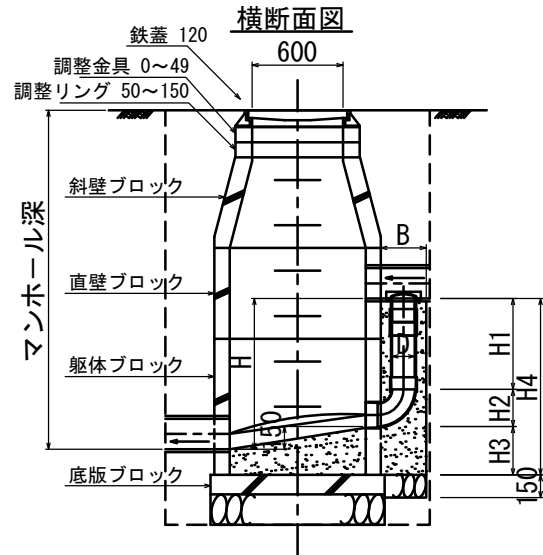
インバート高

人孔種別	mm
0号, 1号	170
2号, 3号	220
4号	382

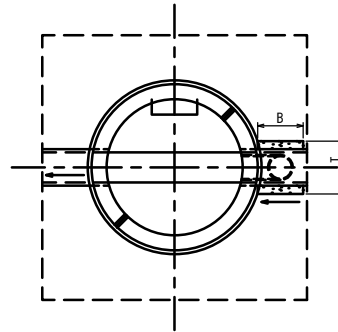
設計標準		
本管径	副管径	
	分流式下水道	合流式下水道
mm	mm	mm
150	100	—
200	150	150
250~400	200	200
450	250	250
500	別途考慮	250
600	別途考慮	300
700以上	別途考慮	別途考慮

管径	100	150	200	250	300
H2 (mm)	0.185	0.253	0.304	0.358	0.409

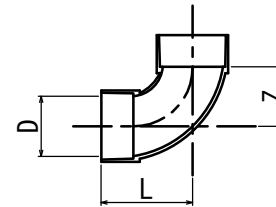
# 組立 外副管付マンホール構造図 S = 1 : 50



平面図



90° 曲管



D	L	Z
mm	mm	mm
100	178	128
150	250	170
200	301	196
250	365	225
300	415	250

H = 落差 (副管高)

H1 = H - 0.15 - H2 - 流入管管厚 + 副管管厚

H3 = インバート高 + 0.15 - 副管管厚

H4 = H + インバート高 - 0.015 - 流入管管厚 = H1 + H2 + H3

H1, H2, H3 = コンクリート量算出高

H4 = 型枠算出高

23

設計標準

本管径	副管径	
	分流式下水道	合流式下水道
mm	mm	mm
150	100	—
200	150	150
250~400	200	200
450	250	250
500	別途考慮	250
600	別途考慮	300
700以上	別途考慮	別途考慮

寸法表

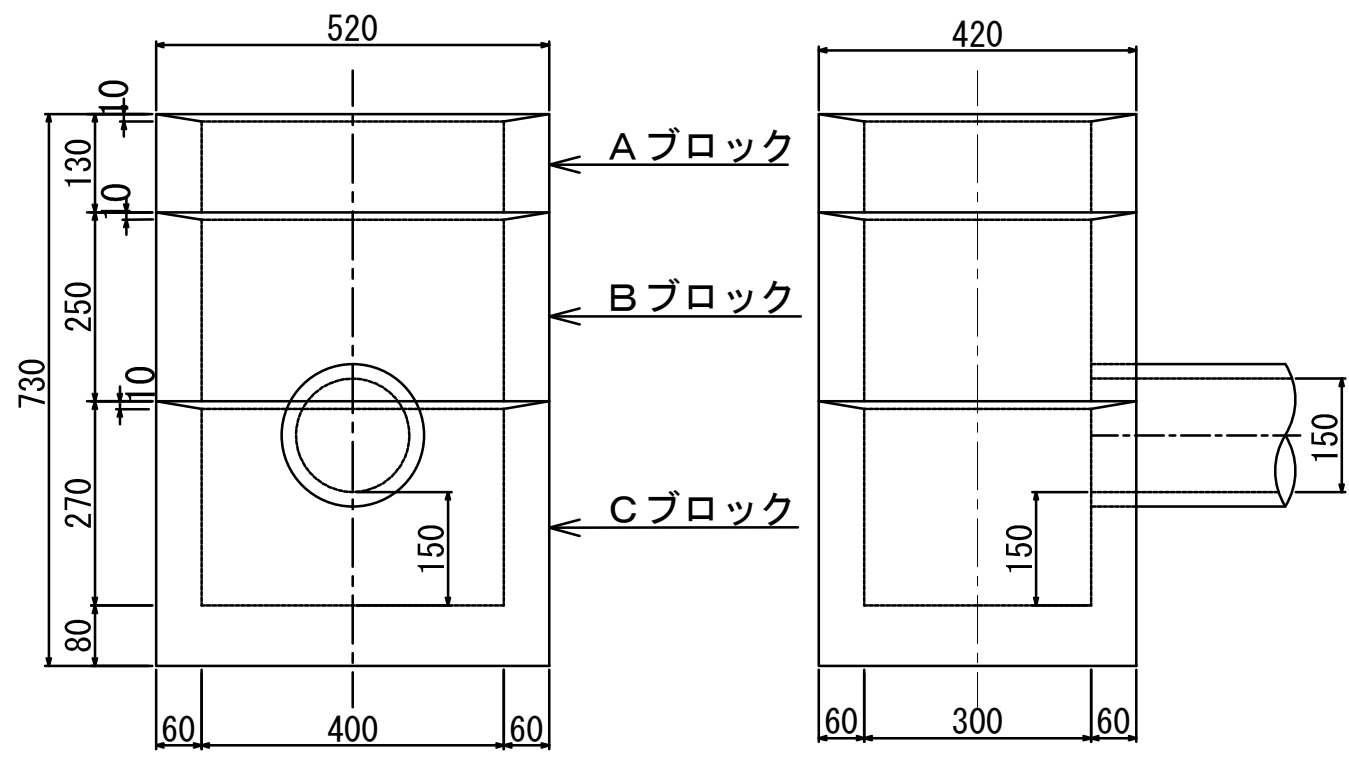
寸法表			数量表			
D	B	T	90° 支管	カラー	直管	90° 曲管
mm	mm	mm				
100	250	300	1	1	1	1
150	300	350	1	1	1	1
200	350	400	1	1	1	1
250	400	450	1	1	1	1
300	500	550	1	1	1	1

管径	100	150	200	250	300
H2 (mm)	0.185	0.253	0.304	0.358	0.409

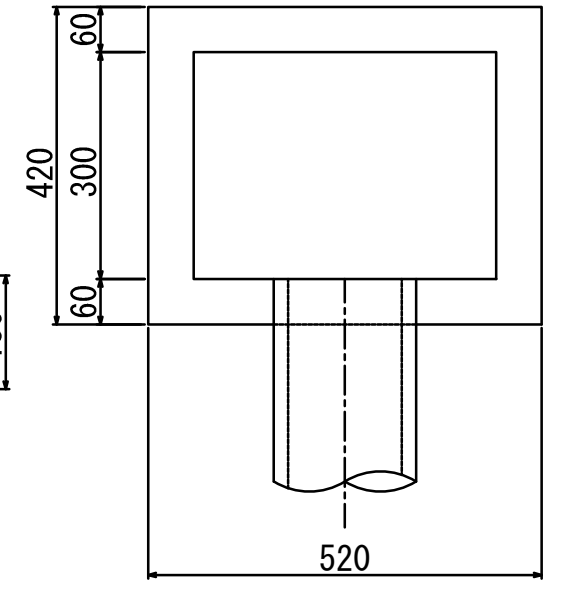
別図 23

雨水枡 (300×400) S = 1 : 10

断面図



底部平面図



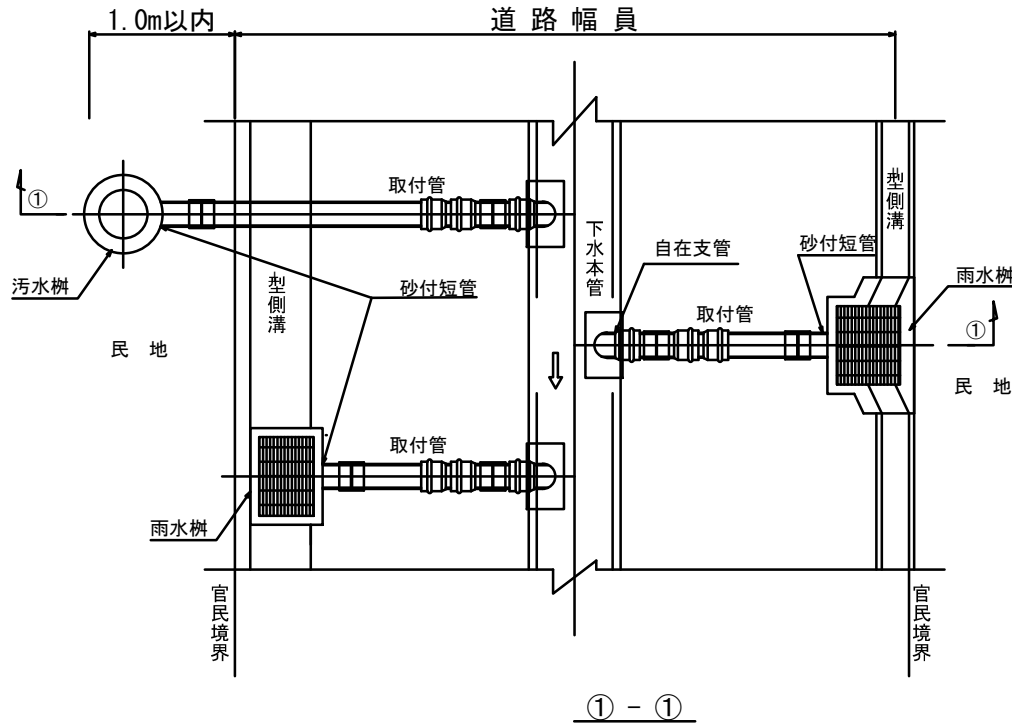
24

別図 24



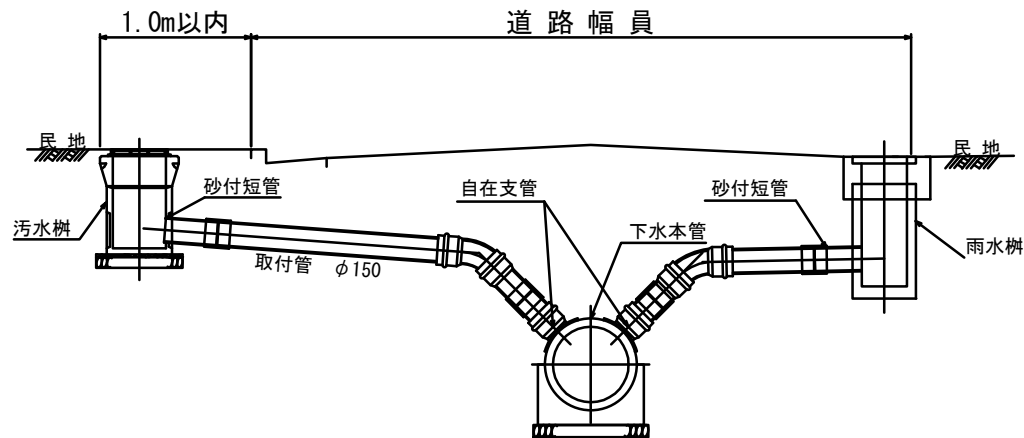
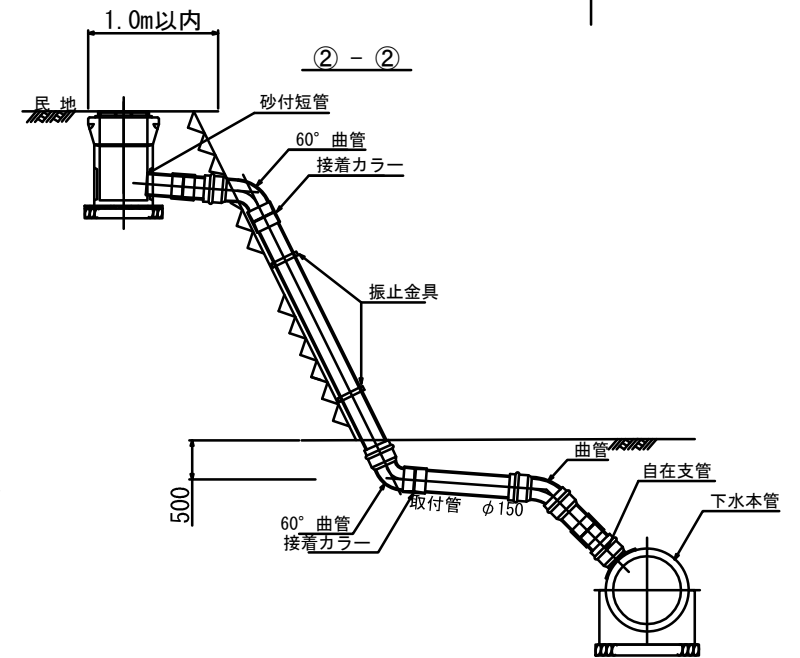
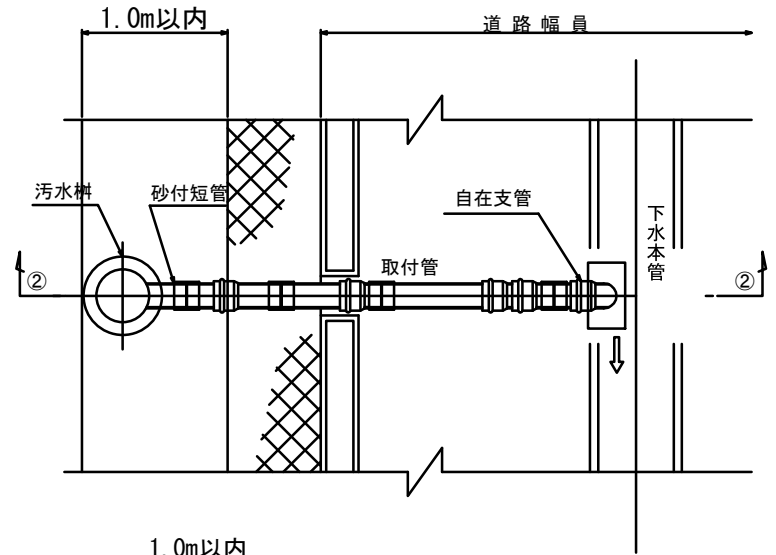
# 污水・雨水柵取付管布設図

平面図



# 特殊汚水柵取付管布設図

平面図



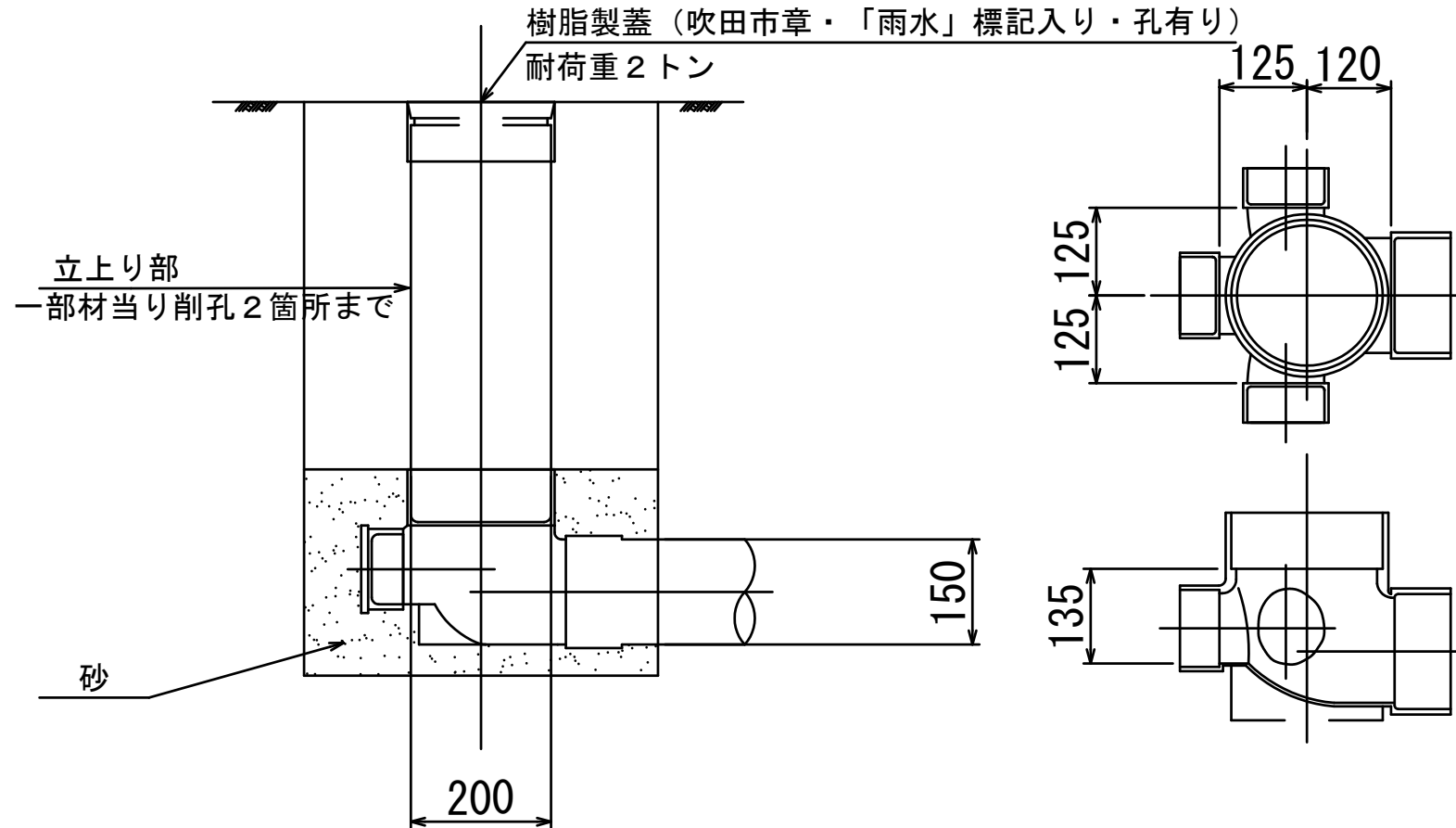
別図 25

小口径塩化ビニル雨水枡 参考図 S = 1 : 1 0

※敷地内に設置する場合に使用し、泥溜めを設けないこと（インバート）

樹脂製蓋使用

受口形



日本下水道協会規格 (JSWAS K-7) に適合した硬質塩化ビニル製品  
枡深さ 1. 2 m 以下で取付管内径が 150mm の場合

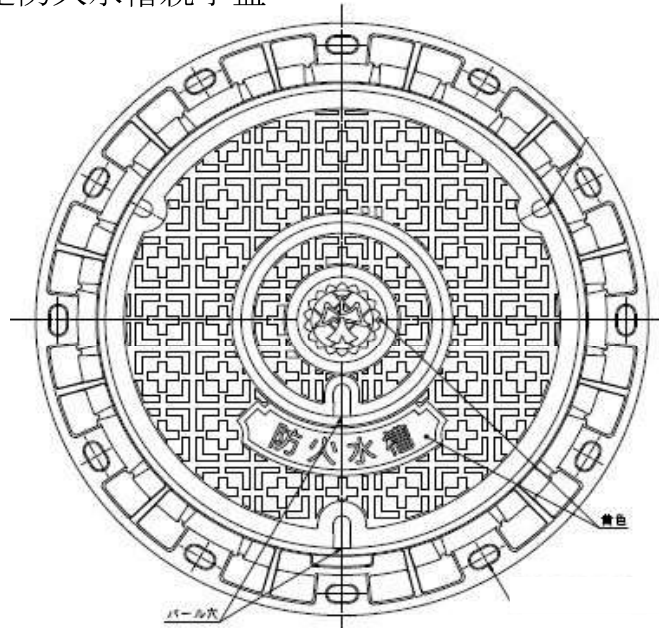
別図 2 6

## 別図 27

### ■吹田市指定防火水槽鉄蓋



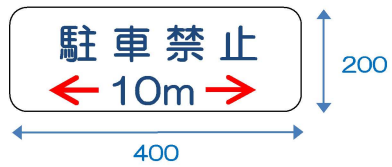
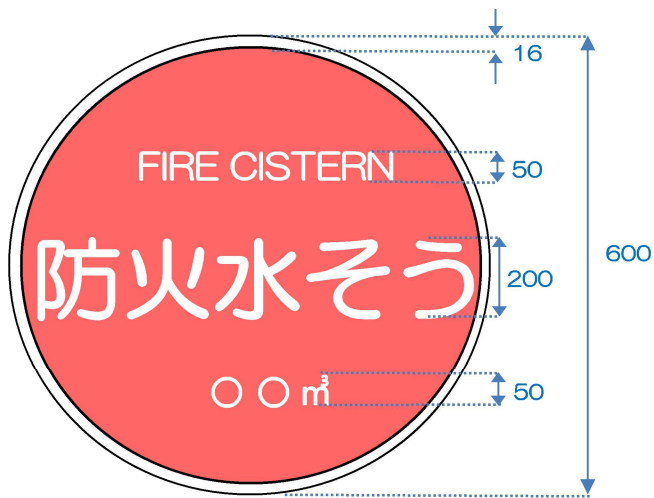
### ■吹田市指定防火水槽親子蓋



蓋の構造、形状及び寸法は、財団法人日本消防設備安全センター発行の「防火水槽等用鉄蓋性能評定実施細目」及び「防火水槽等用鉄蓋技術ガイドライン」に基づく、財団法人日本消防設備安全センターの性能評定合格品又は同等品であること。

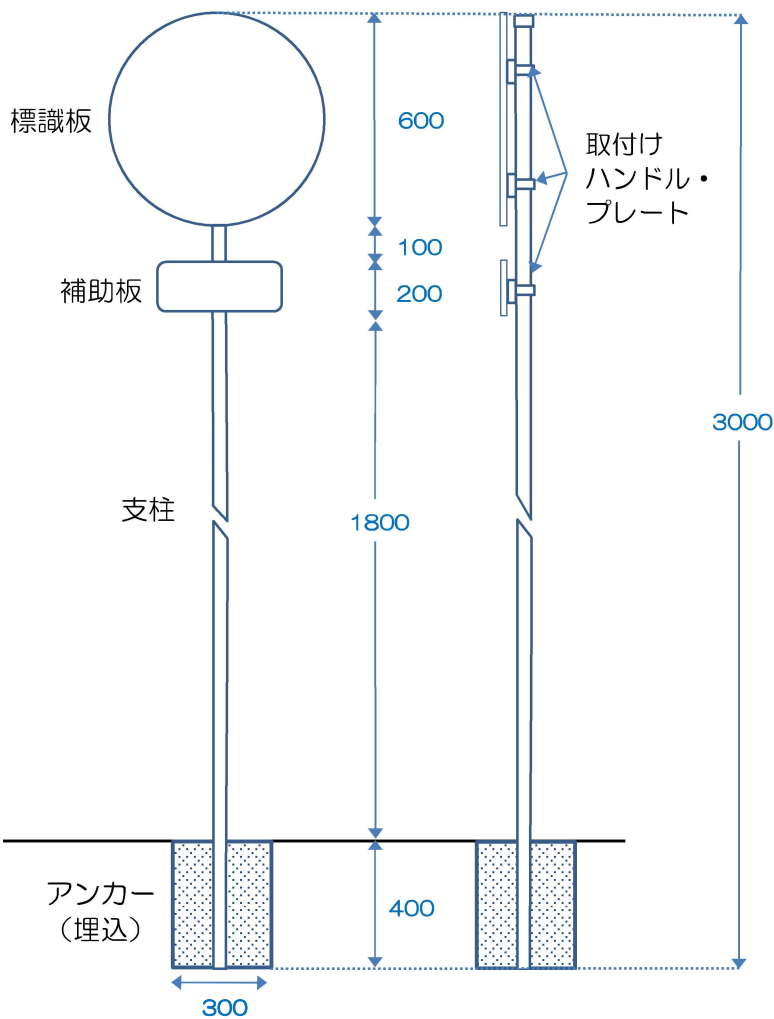
なお、設計荷重はT-25とすること。

# 別図 2 8



標識板		
色彩	地	赤色
	縁	白色
	文字	

補助板		
色彩	地	白色
	文字	青色
	矢印	赤色



## 山折れとする場合

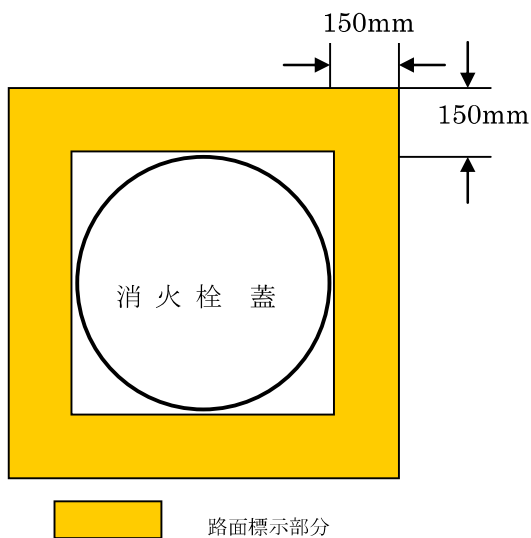
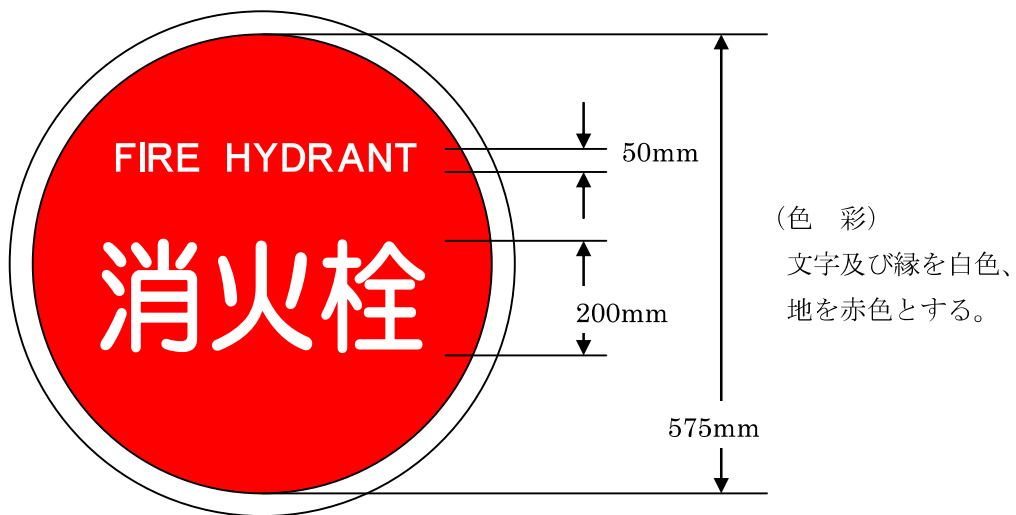
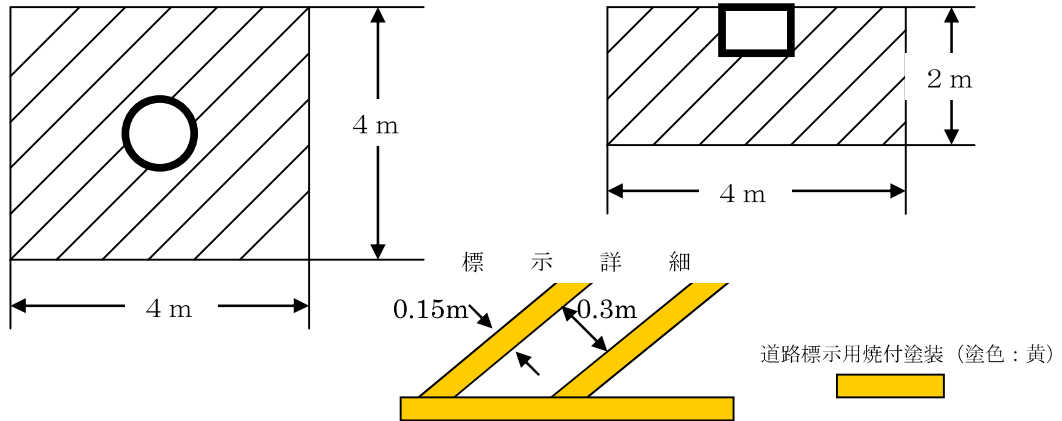
- (1) 支柱の曲折は45度とし、中心から300mm外側に開く。
- (2) 曲折部位は溶接する。



# 別図 29

投入口の場合

採水口の場合



路面標示部分

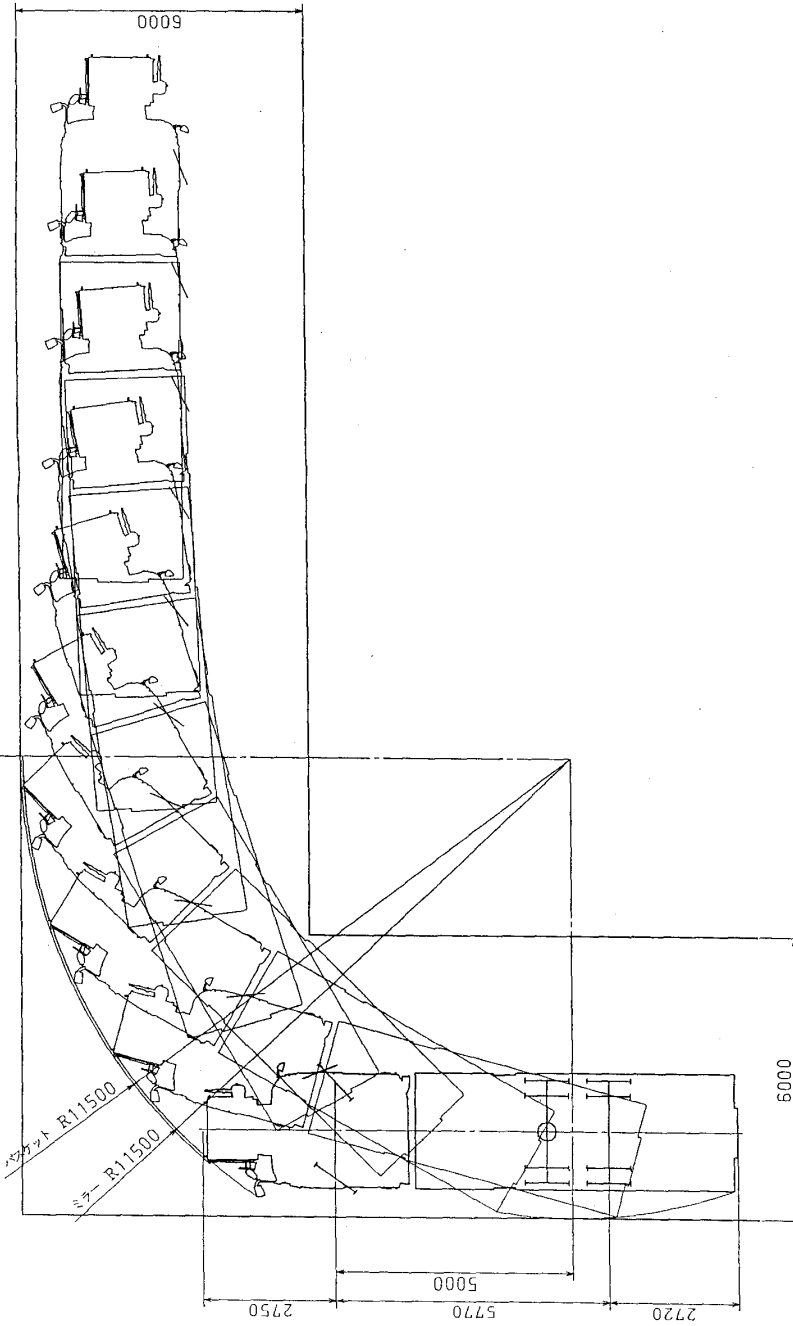
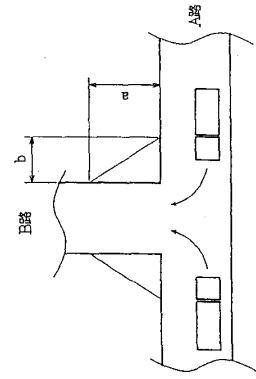
## 規 格

- ・路面標示塗料の規格は、JIS K5665-3 種（溶融）1号とする
- ・塗料の色は、道路標示黄色とする。
- ・ガラスビーズを表面に散布する。（100cm あたり 20～30 g 使用）
- ・路面標示塗料に使用するガラスビーズは、JIS R3301（路面標示塗料用ガラスビーズ）の 1号とする。
- ・路面標示塗料の乾燥膜厚は、1.5mm 以上とする。

道路幅員表

単位: m

車路	車路		4	5	6	7	8	9
	a	b						
4	a	b	7.1	3.3	1.9	0.8	0.2	0.0
	a	b	4.2	3.2	2.2	1.2	0.2	0.0
5	a	b	6.0	2.3	0.9	0.0		
	a	b	2.9	1.9	0.9	0.0		
6	a	b	5.0	1.3	0.0			
	a	b	1.9	0.7	0.0			
7	a	b	4.0	0.3	0.0			
	a	b	1.2	0.2	0.0			
8	a	b	3.0	0.0				
	a	b	0.8	0.0				
9	a	b	2.0	0.0				
	a	b	0.5	0.0				
10	a	b	1.0	0.0				
	a	b	0.2	0.0				
11	a	b	0.1	0.0				
	a	b	0.1	0.0				
12	a	b	0.0					
	a	b	0.0					



※作図はJASO Z 006-92 プロッタ法に依る。

# 別表 2

水平使用範囲図

- Ⓐ ジャッキ張出幅 最小・定員 3 名
- Ⓑ ジャッキ張出幅 最大・定員 3 名
- Ⓒ ジャッキ張出幅 最小・定員 2 名
- Ⓓ ジャッキ張出幅 最大・定員 2 名
- Ⓔ ジャッキ張出幅 最小・先端支持使用限界
- Ⓕ ジャッキ張出幅 最大・先端支持使用限界

